

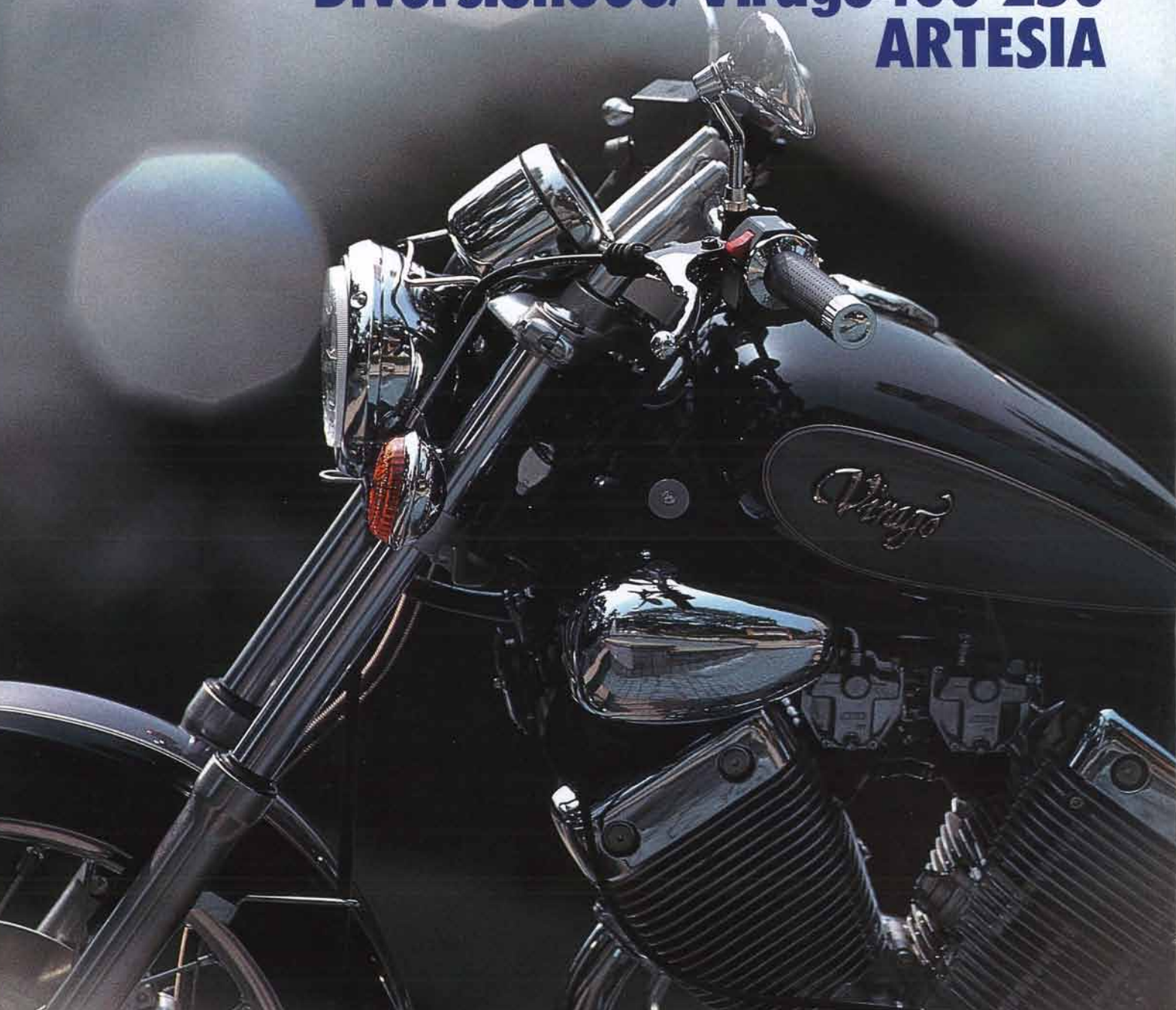
# ヤマハニュース8

YAMAHA NEWS NO.350 1992

特集●西湘バイパス・第三京浜ドキュメント——2  
**生録！これがライダーの実態だ**

列島ぐるり●こんにちはヤマハ紀行特別編——10  
**東海道** 東京～京都をひとまたぎ！  
13Q・無給油ツーリング顛末記

NEW MODEL●夏本番！充実のラインナップ——17  
**Diversion600/Virago400・250**  
**ARTESIA**

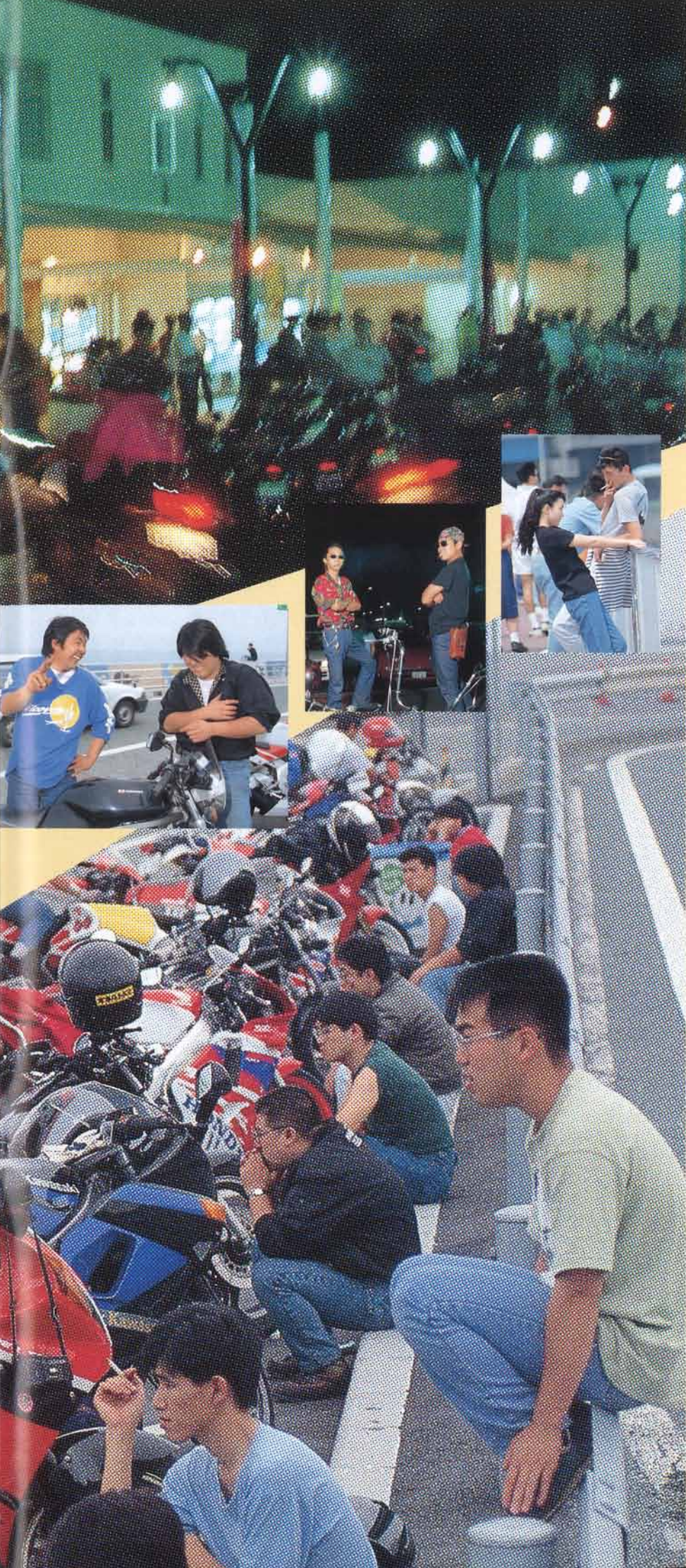




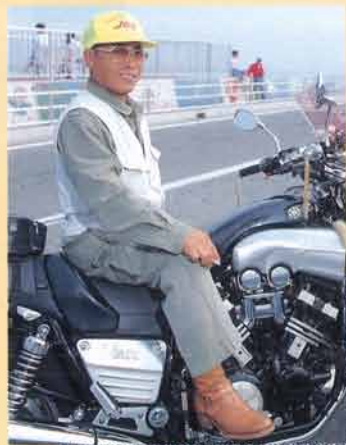
特集●西湘バイパス・第三京浜ドキュメント

# 生録 これがライダーの実態だ

「いま、ライダーは何を望み、どんなバイクライフを送っているのだろうか。改めて生の声を聞いてみよう」  
今号の特集は関東地方を代表する二カ所を観測地点に選びバイクユーザーの「生態」を探ってみました  
そして、彼らのバイクへのかかわりをベースに、店頭活動へのヒントを整理してみました。













横柄、粗雑な態度が目につく  
二輪店ははじめない!

小長谷清次さん(45歳/会社員)

バイクってね、私が乗り始めた昭和37年頃はまだまだ高級品で、持つこと自体がステイタスというか憧れの的だったんだ。最初のバイク? ヤマハだよ。Y Aなんとかってやつ。

それから8台くらい乗り換えたかな。ずっと乗ってたわけじゃなく、結婚して10年くらいブランクがあったんだけどね。趣味としちゃ、一番自分に合ってるんだろ。ゴルフとかもやるけど、結局時間があるとバイクにまたがってるよ。

でも、齢を考えると最近の国産車はちよつと若すぎるねえ。今乗ってるのはみんな古い外車ばかり。ヤマハは好きだよ。乗り換えるとしたらSR500かSRX600。ほかは魅力を感じないな。

魅力がない、という意味では販売店も同じ。私は外車の四輪ディーラーにいるからどうしても比較しちゃうけど、お互い趣味性の強い乗り物を扱っていながら二輪店の人間の高圧的というか横柄な態度がどうも……。ある限られた人には気軽な仲間付き合いとも言えなくはないが、それが初対面の人やなじみの薄い人にとってはただ乱暴で粗雑にしか映らないと思う。

まあ、私はパーツを取ってもらおうくらいの付き合いだね。それで十分バイクは楽しめてるし……。

こればかりは、仕事を退いてもやめられないよ。空気のおいや風を肌で感じる心地よさ、最高だね。気持ちや体がいつまでも若くいられるもの。



●両調査場所ともに「所有車は1台」というユーザーが圧倒的に多かった。また複数所有者にその内訳を聞いたところ、スポーツバイク(レジャー用)＋スクーター(実用)というパターンが全体の過半数を占めた。

●理由の多くは「経済的に精一杯」というもの。オンロードモデル＋オフロードモデル、250cc＋オーバー1750ccなど理想のスタイルは持っているが、セカンドバイクの所有率は低いといえるだろう。

●しかし乗り換えの周期は意外に早く、平均で5・2台を乗り継ぎ(約2年周期)、多い人では20台以上(約1年周期・43歳)、バイク歴6年で12台(約半年周期・22歳)というハードユーザーもいた。

DATA 2 バイクショップ 来店頻度

「オイル交換の時ぐらいいしか店に行く機会ってないな」  
(中田繁明さん・30歳・会社員)

■バイクショップとの付き合いはあるか? (YES・NO)



●5人に4人がバイクショップとの付き合いを「ある」と答えているが、来店頻度となるとこれがさまざま。どちらかというと「週に1度」という常連は少数派で、「オイル交換の時ぐらいい」と答えるユーザーが多数を占めた。その平均は約1年に3回程度か。

●店に行かない理由としては「修理は自分でする」という意見が多く、「その他には特別用事がない」と店頭の話題性の乏しさが浮き彫りとなった。





バイクが好き、走るのが好き  
今どき珍しいタイプだろうね

稲沢博さん(20歳/会社員)

ひと月に走る距離？ そうねえ、4、5000kmは走るんじゃない。だって、バイク便やってるんだもん。プライベーターじゃ2、3000kmってとこかな。

本当はさ、ツーリング行きたくてこの仕事始めたんだ。ところが、その間に事故やっちゃってお金がパー。まだ借金が残ってるしツーリングどころじゃない。でも、仕事でバイクに乗ってられるから、それが救いかな。走るのは好きだよ。仕事だからってわけじゃなく、雨の日でも関係ない。雨上がりの晴れ間なんて最高に気持ちいいんだ。

バイクの良さって、この気持ちよさに尽きるよね。あと、なんたって早いことスピードの速さじゃないよ。クルマがノロノロ走っても、バイクはスイスイ走れるってこと。

外観は二の次かな。ココに集まる連中って、バイクにいろいろ手を入れているのが多いけど、オレはまったく興味ないね。改造なんかには使う金があったらガソリン代にする。

高校の時の仲間なんかじゃ珍しいタイプだ。自分でも思う。だいたい、ほかのヤツってもうバイクに乗ってない。みんなクルマになっちゃったよ。女のコがバイクよりクルマがいつって言うからさ。オレは絶対バイクだけだ。

これからやってみてみたいのはね、オフロード。友だちに借りて走ったことあるけど、おもしろかったな。トリアルもいい。地味っていうけど、実際スゴいよ、あのテクニク。それと、本当に夢かも知れないけど、中央アジアの誰もいない大草原を思いきり走ってみたいね。

DATA 3  
バイクにかかる費用

「ローンが残ってるうちはあまり遠くに行けないね」  
(山崎幸男さん・25歳・会社員)



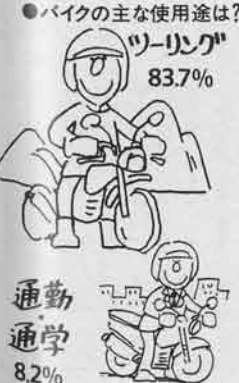
●5000円以下と答えたライダーが2・7%。最高は7万円というライダーだが、その内訳はローン返済とドレスアップによるもの。最多層は1・2万円の32・4%。

●費用の使い途は、ローンがあるかないかで傾向が分かれる。ローンが残っている人は当然返済に大きな部分を割いており、用品・部品の購入やツーリングにはお金をかけていない。逆に現金派の使い途では、圧倒的にガソリン代と答えた人が多かった(67・5%)。続いて部品・用品代(10・2%)、ツーリング雑費および高速代(8・4%)……となっている。

●また「バイクにお金がかかるので、他の趣味が持てない」(21歳・会社員)という意見も目立った。

DATA 4  
バイクの用途

「ツーリング以外ですか？  
あまり乗らないなあ。」  
(甲斐保行さん・21歳・会社員)



# 第三京浜

保士ヶ谷P.A

ウワサには聞いてたけれど  
ホント、見てて飽きないわ!

熊久保節子さん(26歳/主婦)

すごいですねえ。ここに来るライダーの人達。噂には聞いていたけど、みんな思い思いにドレスアップしていて、見てるだけでもとっても楽しいし、飽きないですね。

でも、私自身のバイクに関しては、改造とかドレスアップには、あまり興味がないんです。

バイクに求めるものが違っているのでしょうか。ツーリングが大好きな私は、疲れずに楽しく走ればいいって考えなんです。

今日は、同じマンションに住んでいるツーリング仲間と見学にきました。

夫はバイクの免許を持っていないので、ウチで子供と留守番です。いつも、私ばかりがツーリングを楽しんでいて、なかなか申し訳けないと思っただけ(笑)。ツーリングってそのくらい楽しいですね。つい最近も仲間と福島周辺を走って来たんですが、周りの景色がとてもキレイで、来てよかったなあって。また、帰ったら帰ったで、地図を広げて次はどこへ行こうかさっそく仮想ツーリング。ホントにもうやみつきですね。

できれば、限定解除にも挑戦して大型バイクに乗りたいと思っています。仲間達が「長距離ツーリングでも疲れないよ」というから、私も欲しくなっちゃって。試験って難かしいみたいですけど、きっと夫も応援してくれると思うし、バイクと一生付き合うつもりでがんばりますよ。

バイクはフルスケール。プラモデル  
いじって人に見せるのが楽しい!!

天真健さん(25歳/会社員)

毎週土曜日になるとここに來てるんだけど、いろんなバイクが来るから見るだけでも面白いよ。ほら、俺もそうだけど、みんな自分のバイクを見せびらかしに来るわけですよ。だから面白いマシンがたくさんあるし、ヘンな奴らもたくさんいるんだ。

俺はね、ツーリングとか興味ないんですよ。どちらかというとマシンをドレスアップしたり磨いたり、そんなことの方が好きなんだ。だからこのマシンも6年乗ってるんだけど、全然古く見えないでしょ。ステッカーを貼る位置とかも雑誌で研究してるから、ほとんど正確なレプリカになってるっていう自信がある。

最近変わったこと? そうだなあ、ツナギ着てくる奴が減ったよね、断然。俺なんか(フルレプリカのツナギだから)かなり浮いてるもん。それよりレプリカバイクがほとんどいなくなってるから、俺なんか異色の存在なんじゃないかな。バイクをいじっていて楽しいのは、子供の頃にプラモデルに凝ったのと似てるよね。それが金属のパーツに変わって、ちょっと難かしくなっただけ。とにかく人と違うものに乗りたい一心で、お金もかけるし時間も使う。カミさんなんかね「子供みたいだ」とてあきれまますよ。いずれはRZV500かなにかを手に入れて、自分でYZRのフルレプリカを造ってみたい。別に峠を走らせたりするわけじゃないけど、ここに持ってきて、「うだ!!」ってやりたいんだ。

実用的なドレスアップが身上  
リッターオーバーは見栄だね

田村浩さん(24歳/会社員)

土曜の夜は、ココってバイクがたっさん集まってくるんです。まるで品評会みたいだね。別に、暴走族の集会みたいなものじゃなく、何する訳でもない、ただ雑談して自分のバイクの自慢とかして帰って。

ボクもたまに來ますよ。自分のバイクのドレスアップの参考になるヤツがいなか見にね。

でも、ボクのは大げさな改造じゃなくて、なるべくオリジナルの外観を損わないようにしながら、例えばブレーキを換えたりマフラー換えたり、実用的な部分でのクオリティアップばかり。よくいるでしょう。もとのバイクが何だかわからないくらいイジってるヤツ。そういうカツコだけのものは興味ないですね。

だって、せっかくなら買って買ったバイクなのに、もてがわかなきゃ意味ないでしょう。お金だつてキリがないよ。

ボクの今の1100ccは、だいたい50万円くらいかけてます。ブレーキの交換が一番高かったかな。だいたい、リッターオーバーのバイクそのものが高価だから、これでもトータルするとけっこうな額になるな。

でも、ほかに趣味はないし、酒もタバコもやめたしね。ま、それが(奥さんにバイクを認めさせる)条件だったんだだけさ。

せめて250ccにしたら、車検代とかの分厚くけど、ちょっとイジましいというか、満足感が足りないというか…。見栄だね、結局(笑)。



## DATA 5 バイクショップの要望

- 「せめて挨拶くらいは当然のようにしてほしい」(加藤哲也さん・21歳・会社員)
- 常連ばかりいる店には入りづらい — 6名
  - (お金にならない)細かいことも、親切に対応してほしい — 1名
  - もっと商品に触りたい — 3名
  - 無理にローンをすすめるのはやめてほしい — 1名
  - (ユーモアやツラツラの情報を) もっとほしい — 4名
  - 技術力を高めてほしい — 11名
  - 最低限の礼儀を身につけてほしい — 4名
  - 料金体系を明確にしてほしい — 2名
  - バイクにも愛情を持ってほしい — 1名
  - 現状のバイクショップに満足しているのは約3割。その他は何らかの不満を持っていた。注目したいのは、店の技術力を高めて欲しいという要望。「アルバイトみたいな人はいじられると、不安でしかたない」(45歳・会社員)という声がかかっている。

## 向けられる厳しい声を 肥やしに!

何かと不透明な要素ばかりが増えてい  
る現代のモーターサイクルの環境の中  
は、指針となるべき情報の収集も難しく、  
短期および長期の戦略あるいはもつと基  
本的にシヨップの目指そうとする方向に  
ついて、なかなか見えてこないという  
のが現状のようです。そのため大きな  
不安をお持ちになっていらっしゃるシヨ  
ップも少なくないでしょう。

しかし、前ページで取材にに応じていた  
だいた一般ユーザーの方たちに以外にも  
いえることですが、姿かたちは変わって  
も人々の考えや行動様式などの本質は昔  
からそれほど大きくは変わってはならず、  
なすべきことは普遍的であり何も変わっ  
ていないのではないかとということです。

ユーザーの実態分析はひとつの有用な  
手段ではありますが、それはあくまでも  
参考データです。やるべきことはやはり  
もう一度、わかりきったような些細なこ  
とからすべて基本に立ち帰って考え直し  
てみることはでないでしょうか。

思うに今回の取材で販売店さんに対し  
て不満を述べてくれた人こそ、実はどて  
も大切にしなければならぬ方ではない  
でしょうか。彼らは販売店さんに対して  
なんらかの期待を持ち、モーターサイク  
ルの未来を考える、いかなれば貴重なオ  
ピニオンリーダー的な存在であり、彼ら  
の欲求充足と趣味性の向上が、新たなお  
客さまの開拓を可能にしてくれる非常に  
重要な存在だといえるでしょう。

説明といった実に素朴なことからはまっ  
ています。なんだ、そんなことかと思わ  
れるかもしれませんが、たったそれだけ  
のことでも本場に十分な対応になってい  
ますでしょうか。整備ひとつにしても、  
見積りの要、不要からはじまり、何をどの  
ように修理し、部品代と技術料はいくら  
という説明が求められなくても、きちん  
と説明しようという姿勢をお客さまに見  
せているでしょうか。

実際に私が体験したところでは、ほと  
んどどの店が十分ではありませんでした。  
それは部品価格や技術料の相場がわか  
らない人にとってみれば「なんとなく高い  
感じがする」としか思われぬものなの  
です。販売店さんの多くは舌つたらずの  
説明不足が多いといっても過言ではない  
でしょう。

## いつの間にか敷居が 高くなっていないか!?

実をいうと整備ひとつでも、たくさん  
の課題があります。整備技術力が高いこ  
とは絶対に不可欠の前提条件ですが、先  
ほどの見積書の作成から、部品納入時期  
整備日数、作業進行連絡、作業完了およ  
び総費用の連絡、旧部品の提示、修理箇  
所の原因や構造説明など、非常に多くの  
手間暇がかかるものなのです。そのすべ  
てをやるべきだといっているのではなく、  
ポイントはお客さまとのコミュニケーション  
がしっかりとられ、整備に関わる誤解  
がなければそれでいいのです。いかなれ  
ば画一的に対応すべきことではなく、信  
頼関係があるお客さまならある程度の省  
略が可能ですし、初めてのお客さまなら  
この点が非常に重要になると思われるの  
です。

# 販売店さんは聞き上手になつて!

信頼できる良きパートナーのために18のクエスチョンをあげてみました

柏 秀樹・モーターサイクルジャーナリスト



こんな点ひとつでも、お客さまとコミ  
ュニケーションを積極的に行うとしな  
いシヨップは、えてして接客態度が横柄  
なところが多いようです。「自分のこ  
ろは技術力があるんだ」「マニアがくる  
お店なんだ」「老舗なんだ」といった自  
負心から、知らず知らずのうちにエン  
トリーユーザーにとって敷居の高いお店に  
なってしまうのです。具体的にD  
OHCも水冷もまったくわかっていない  
お客さまにたいしてバカにしよう店  
も少なくないようですし、そんな知識の  
人でも中型免許にパスしているのが現状  
なのです。それでもやさしく対応し、で  
きればより安全な乗車レベルまで引き上





げてあげられるかどうかが本質的な問題  
なのではないでしょうか。

お客さまは高い技術力のもとより、高  
い技術力以上に心の広くて奥の深い信頼  
できる良きパートナーを求めていらっし  
やるのではないのでしょうか。特にこれか  
らのバイク社会に大きな影響力を持つオ  
ビニオンリーダーたちは、そんなマイ  
ドをバイク販売店に求めているはずで  
、バイクはどこで買っても同じ商品なの  
に出会い方ひとつでまったく違う商品に  
なる典型的なものだと思うのです。

では、最後に日頃気になっている点を  
列挙してみました。反省材料に使って  
みてください。商品知識は本当にあり  
ますか？ うまく簡潔に気持ちを込めてい  
えますか？ 軒先で整備していませんか？

修理明細は正確ですか？ おつりを自  
分のポケットから出していないですか？  
下手でも丁寧な字を書いていますか？  
挨拶はさわやかですか？ お店の個性  
ってなんですか？ 安全を本当にセット  
で売っていますか？ 威張っていませんか  
？ 従業員の言葉使いは大丈夫ですか？  
慣れ慣れしくいいますか？ よそよそ  
しくいいますか？ ゴミやホコリのチエ  
ックは入れていますか？ 定例の遊び企画  
に変化を入れていますか？ 用品知識も  
ありますか？ 日に3回反省して働く「  
省働」になっていますか？ あなた自身  
に夢はありますか？

何はともあれ、個々のお客さまに関心  
を持ち、聞き上手になってください。た  
ったそれだけでも素敵なバイクショップ  
になるきっかけはいくらでも見つけられ  
るのですから。



列島ぐるり

こんちにはヤマハ旅行 特別編

# 東海道

## 東京 京都をひとまたぎ！ 13ℓ・無給油ツーリング顛末記

ガソリン容量13ℓの長い足が自慢の「AXISプロフット」フルタンクのカソリンで、実際にどこまで行けるか試してみようと動き始めた「プロフット無給油チャレンジツーリング計画」。

これは、莫とした期待と不安のなか、見事、東京と京都間を走破するまでの記録である。





## ついに立った！三條大橋 思えば遠くへ来たもんだ

「おい、見えたぞ！」「なに？どこどこ？」「目の前に、地下鉄の入口が見えるだろ」「あれ？あそこが三條大橋なのか」

「やったく！来たんだホントに！！」

伴走車の中で、残ったスタッフ全員が思わず歓声をあげる。6月17日、20時ちょうど。

葛飾ナンバーをつけた2台のAXISプロフットは、ついに東京・日本橋から京都・三條大橋までの東海道（国道1号線）五十三次全行程468・8kmを、たった13日のガソリンで走り抜いた。

ヤマハ・京都営業所のみんさんが、横断幕と立て看板を持ってお出迎え。橋の渡り口の、

ただでさえ狭い歩道は、我々スタッフや営業所の人、そして通りすがりの見物人であふれんばかりになってしまった。

「本当にこのスクーターで東京から来たの？」「ええ！それも途中給油なしでね！」「どのくらいかかったの？」「2日間、25時間ちょっとです」「そりゃスゴイ！おめでとー！」

そんなやり取りを、みんなが何人の人たちとくり返したことだろう。しだいに完走の喜びが実感としてこみ上げてくる。

そして、記念撮影を終え騒ぎが落ち着いたあと、我々は改めてお互いに声をかけ合った。「お疲れさま！」

### それは誰ともなく言い出した

### 素朴な疑問から始まった

**ス** テップスルー方式を初めて採用したヤマハの「パッソル」以来、スクーターは今や人々の日常生活に欠かせない手軽な足がわりとして定着している。

その機能も、単なる機動力の充実にとどまらず、ファッション性、積載・収納力、経済性などあらゆる付加価値を高めながら進んできた。

かくして、1台あれば買い物から街乗り、通勤、通学、なんでもこなせる定番「JOG」を中心に、女性向けのやさしい走り「ミント」、市街地での走行安定性を重視したアダルト派「AXIS」といったバラエティ豊かなラインナップがそろい、また、遊び心満点の「ピ

ーウィズ」や初のヘルメット収納スペースを持つ「チャンプBCX」などの個性派も登場した。今年6月に新発売した「AXISプロフット」は、スクーターの絶対必要機能といわれたヘルメット収納スペースをあえて放棄し、かわりに13ℓもの大容量フュエルタンクを設けたところが最大のポイント。

毎日のようにスクーターを利用する人にとって、通常タイプの3・5・4ℓタンクでは毎週1〜2回は給油しなきゃいけないから面倒だという声に応えた結果だ。



国道1号線は言うまでもなく大幹線道路。渋滞もあれば、流れが早すぎてジャマ扱いされたこともある。それでも我々は淡々とガマンの走り



早朝の都内はまだクルマも少ない。このスキに乗じて、しばし摩天楼群に別れを告げる



湘南付近のコンビニで一服していた時は、全員が元気がいい。しかし、緊張がとれた箱根では、先の長さを知って一気に疲れが……



「でも130っていえば、メイトの倍以上あるし、SRV250とかアルティシアと同じでしょ？ 実際何kmくらい走るのかなあ」そんな疑問が、ヤマハニュースタッフと開発担当者たちとの会話からポロツとこぼれた。

「ほんとは名古屋まで行くの？」白と黒1台ずつ用意されたAXISプロフット・ボックスを見て、4人の担当ライダーが口ぐちにそう問いかけてきた。いくら130でもガソリンが入るとはいえ、50ccスクーターである。にわかには信じ難いのは無理もない。

定地走行テストでは、1台あたり61kmへ30km/h」という好燃費を記録してはいる。まともに計算すれば793km、東京-岡山間にも匹敵しようかという距離だ。

しかし、実際に公道を走る場合は渋滞あり信号あり山坂ありと、条件が随分悪くなる。半分の30km/hと読んで計390km。東京からだと名古屋付近までなら行けそうだ。そこで、プロフットの車体やリアボックス

## 予想以上の好走に一同大慌て 「いったいどこまでいくの？」

**弥** 次号と名づけた白いプロフットは、ヤマハ社員でスクーターなどの開発、走行実験を行なっている前田安、日浦睦巳のプロジェクト、喜多号と呼ぶ黒いもう1台は下谷

国治、高見喜一という19歳の、大学生チームがそれぞれ交代でライダーを務める。伴走車はワンボックスのトランスポーターが1台、3人のスタッフと控えライダーの5名を乗せて走る、総勢7名プラス3台の体制だ。

出足は順調だった。梅雨の晴れ間に恵まれ

には「NO CHARGE」130の「TOKYO OSNAGOYA」と大きく記された。ライダーたちは、これを見て驚いたのだ。

なにしろ彼らはこの時まで詳しいことを何ひとつ聞かされていなかった。ただ、AXISプロフットを使って東海道を西へ、ガソリンがカラになるまで走る、それだけだ。

もつとも、企画したメンバーたちにしても、「これはおもしろい！」話題づくりになる「現代版・称次喜多珍道中だ」と、まったくの興味本位で盛り上がったブランドだけに、詳細なスケジュールどころか準備もない。朝から走れば夜までに止まってしまおうかと考えていたくらいだから、よく考えると無責任このうえない話である。

そんな具合いだから、ライダーもサポートスタッフも気楽に考えていた。とりあえず130満タンにしたプロフットに、無給油の証しの封印をし、東京・日本橋の交番前をさつそうとスタートしたのは、6月16日午前6時30分のことだった。

て、まだ交通量の少ない東京都内をスイスイと走り抜ける。

「12時間後って、まだ走ってますかねえ」先行して走る2台のプロフットをながめながら下谷がのん気につぶやいた。この時に、まだ誰も自分たちの考えの甘さにまったく気づきもしなかった。

それが、やや不安そうな声に変わってきたのはお昼すぎ頃。川崎、横浜、小田原と、かなりの渋滞に巻き込まれ、最初の難関、箱根



街道随一の宿場を門前に成した熱田神宮で、次なる目標成就を願う



浜名湖・弁天島を横目に少し走ると新居の関。そのすぐ横にはヤマハ新居工場がある



やっとの思いでたどり着いた三条大橋。喜ぶ気力さえ使い果たした顔と余力を感じる笑顔は、やはり若さの勝利か



京都まで100kmを切り、先が見えたと喜んだのもつかの間。鈴鹿峠の前に試験の雨が降る



かつて徳川家康の居城でもあった岡崎城は今も矢作川を見おろすほとりに立つ



の関にようやくとどりに着いた時だった。

ここまでおよそ6時間。距離はまだ1100 kmにしかならない。燃料が名古屋までついてもたないということよりも、全400 kmの行程と考えてもまだ4分の1しか来ていないことにあせりを感じたのだ。

だいたい、プロフットの燃料計はピッタリF<sub>4</sub>に貼りついたまま動かない。もしも400 km以上走るなら、それは確かにスゴイことだが、夜通し走っても翌日の朝になるのは間違いあるまい。全員の顔がひきつった。

## 東海道は曇りのち雨…… カウントダウンが始まった

**2** 日目。ガソリンはまだ4分の3近く残っている。ここまで263 km走っているから、どうやら名古屋はラクにクリアしてしまいそうだ。計算では、550〜560 km地点にあたる京都がポーターラインと出た。

京都はちょうど東海道の終点でもある。最終目標を京都・三条大橋と定め、あとは燃料まかせ、行けるところまでがんばろうと腹を決めた。

7時30分に磐田宿を発ち、通勤ラッシュの中ひたすら名古屋をめざす。豊橋を過ぎ、この日2度目のライダー交代をした330 km付近で、燃料計はようやく半分を切っていた。

このあたりから、ライダー4人はエコノミー走行を特に心がけ始めた。アクセルのオンオフはゆっくりと、交差点ではなるべく止まらずにすむよう注意を払っての走行が続く。といって、エンジンや車体への小細工は最初から何もない。キャブレターを絞ったりもしていないし、ガソリンだったただのレギュ

長い峠を下り、沼津で昼食をとる。ライダーたちはまだまだ元気。しかし、富士川を越え清水市を過ぎ、静岡市に入った17時、200 kmを走破したところで、ついに静岡県磐田市での宿泊と2日目続行を決定した。

「ここからなら、まだ東京へそのまま帰れるんじゃない?」そうだねえ、すごいスクーターだよな、実際」

本気でどこまで走るか見届けたい、とスタッフ全員の意志がひとつになった。

ラーだ。ふつうに納車される寸前の新車をそのまま使っている。できる限り、お客さまが通常に使用するコンディションそのままなれば、今回のチャレンジは意味がないのだ。さて、いよいよ名古屋市に入った378 km地点。街道筋で名古屋営業所の近藤所長が同じプロフットで合流し、第1目標の熱田神宮まで道案内を買って出してくれた。

途中、いかにも旧宿場町らしい風情を残す鳴海の旧街道へ入り「YOU SHOP 酒井サイクル」さんで簡単な車体チェックをしてもらう。「ほんとに京都まで行くの? 鈴鹿峠あたりで雨になりそうな雲行きだから気をつけて」と、励まし(?)のこぼに送られて再び出発。熱田神宮は、ちょうど車のメーターが400 kmをさしたところで到着。思いがけず、花束で盛大に歓迎を受ける。近藤所長のイキナはからいだ。

「それじゃあ、京都まで行けたら舞妓さんの

# 東海道

出迎えかな?」など、まずは第1目標をクリアしたせいか、冗談を言い合う口調も軽い。

しかし、桑名、四日市と通過していく間、伴走車とプロフット2台が完全にはぐれてしまい大慌て。結局30分後、前方で待っている2台を発見し事なきを得た。

と、ホツとしたのもつかの間。今度は鈴鹿峠を前にしてとうとう雨。大型トラックにあおられ、水しぶきを浴び苦闘する。

燃料計はすでに「E」ゾーンを指し、黒の喜多号のほうが消耗度がやや大きい。ライダーの疲労も目に見えて増してきたし、いつしか外は夕闇が迫ってきた。

京都から東京行き新幹線に間に合うか。下谷、高見の2人は、翌日大切な授業がある。「8時30分までにゴールできれば大丈夫!」でも、間に合わなかったって途中で帰れつてのはナシですよ!」ここまで来たんだから」

17時30分、京都まで50 kmの表示。17時50分、草津へ20 kmの表示、そして500 km達成。

「行先表示板を見るのがこんなに待ち遠しくてドキドキするのは初めてだね」とスタッフのひとりがつぶやく。

窓の外にYAMAHAYAの大きな看板が見えた。滋賀営業所だよ、と誰かが言いかけて、「ア、アレ!」と叫ぶ。営業所の人々が3人、手を振っているのが見えた。いつ通るかかわらないプロフットを待っていてくれたのか…。雨は小雨になり、大津市に入る頃はほとんど

と上がっていた。19時10分、最後のライダーチエンジ。燃料計の針はもう「E」を振り切っている。京都まであと20 kmを切った。

ここで、大学生チームは喜多号を日浦に託した。最後のゴールも自分たちのライダーで切りたい気持ちはヤマヤマだが、ガソリンの残りが本当に微妙だ。せめて1台完走できればと思ったが、できるものなら2台一緒にゴールさせたいと、あと10数kmをプロのライダーに賭けたのだ。

「ガス欠で止まったらどうしようかって、走ってる間、不安で不安で…」と高見は伴走車の中で打ち明けた。

19時30分。いよいよ最後の難関、山科の峠にさしかかる。ここさえ登り切れれば…。伴走車のスタッフ全員が、夕闇に光るプロフットの2つの赤いテールランプを息を詰めて見守り続ける。

30 km/hの制限速度を忠実に守りながら、淡々と峠を登る弥次号、喜多号はやがて下り坂に入った。伴走車は2台の前に出て先導を始める。スタッフはドライバー以外全員後ろ向きでプロフットから目を離さない。

「ガンバレ! あと少し!」下谷と高見の2人がとうとう窓から身を乗り出すように手を振り、2人のライダーが軽く手をあげて応える。その瞬間、頭上を「京都市」の表示板が過ぎ去っていった。





# アイデア拝見 Pint & Hint

広告・宣伝②

広告は飛び道具。上手な使い方をすれば、見えないターゲットを射止めることも可能です。今月は地域密着型の広告・宣伝活動にスポットを当ててみました。

## 今月の達人

ちゃりんこTERU (東京都狛江市)  
齊藤照雄 社長(40歳)

### JOG ポシェ・キット

誠意を込めて手渡しする  
お店の存在をアピールし、販売戦略にも大きな意味を持つ広告・宣伝活動。前号では主に見えない(潜在的な)お客さまの目をお店に向けさせるための作業について探ってきたが、今回はもう一步進み、お店に来店したお客さまに対するアプローチについて考えてみることにした。

『ちゃりんこTERU』さんは、東京都下の住宅地にオープンして7年目のお店。まわりに競合店はいくつもあるが、そろそろ地元密着型のご商売にも根が生えてきたところである。スクーター中心のご商売のため、商圏はお店から約1キロ圏内というところだが、



新商品のセールスプロモーション用ツールは拡販の戦力。「売り」の場面で積極的に活用する

認知度は年々高まっているという。「うちの中心となる客層は、やはり主婦のみなさん。主婦というのは非常に口コミ効果の高い層なので、やりやすい反面、難しさもあるんです」と齊藤照雄社長。誠意を持って接していれば必ず信頼してくれるが、逆にひとつのトラブルですぐに離れてしまうのも主婦層だという。そこでこの最も敏感な客層である主婦をターゲットにした宣伝活動をテーマに、同店の活動を追ってみた。題材は先に発売されたばかりのJOGポシェである。

「JOGポシェが店に来て、まずしたことは手渡し用の広告キットの作成です。中にはJOGポシェの発売を知らせるチラシと紹介キャンペーンの案内、それとオマケのステッカーを入れました」



店頭で買つておられるお客様  
修理代を通常価格より、  
安く取り扱います。  
軽微な点検及び修理は、  
無料です。  
メーカー車をより安く  
販売するよう努力して  
おります

### ★修理に安心近くのお店

YAMAHAコンピューター専任により、  
スピーディーに故障箇所を診断します。  
2名 1名  
・自転車組立整備士  
・二輪車整備士  
・YAMAHA二輪車整備士認定資格者…1名  
自転車、バイクを買うなら公道移動部が  
いるお店で、お買い求めください！  
各メーカー自転車もお買得プライス！



自転車、バイクを御用だけで喜んでいませんか？  
\*自転車やバイクは公道を走る乗り物です。日頃の点検や調整、  
時には修理が必要になります。  
安心して長く乗る為にもアフターサービスが大事なのです。  
販売だけでなく、アフターサービスも考えて  
販売だけでなく、アフターサービスも考えて  
お買得価格のあるお店でお買い求め下さい。



### お友達をご紹介下さい

お友達でスクーターや自転車を買いにいってら  
る方、ぜひご紹介下さい。  
お友達がお得な価格で  
ステキなプレゼント  
キャンペーン特価にて  
ご購入いただけます。

ヤマハ 専門店  
**ちやりんこTERU**  
柏江市西野川2-1-1  
☎ 03(3430)0567  
水曜定休

YAMAHAとゆめをアップ  
SPRING SALE 2013

「新しいスクーター、新しいバイク、新しい楽しみ」  
「新しいスクーター、新しいバイク、新しい楽しみ」  
「新しいスクーター、新しいバイク、新しい楽しみ」

「ちやりんこTERU」さんの手渡しメールキットの中身はご覧のとおり。  
主に点検・修理のお客さまへ真心を込めてお渡しする

## 真心が伝わる 手渡しメール



「渡すのは店頭に来たお客さんすべてです。自転車のバンクを直しに来た人からスクーターの点検まで、JOGボシエのターゲットになりそうな方ならどんな人でもお渡ししています。郵送も考えたんですが、見てもらえないまま捨てられるなら、「ご覧になってください」の一言を添えて渡した方がいいと思います」

キットの中身を見ながらJOGボシエの話題で盛り上がり、一気に試乗へというパターンも少なくないそうです。

## 実車を見せる機会を増やす ダイレクトな宣伝

お店を中心に約1キロという目の行き届きやすい限られた商圏では、マスメディアに頼らないさまざまな宣伝活動が可能となる。JOGボシエのようにターゲットのハッキリした商品なら、

なおさらといえよう。  
「うちでは試乗車を1台おろしているんですが、これをプロモーションにも使ってるんです。女房が買い物に行く時はもちろん、スクーターで用の足りる登録などの仕事にも必ずJOGボシエに乗って行きます。スーパーの前にドッサリと荷物の入ったJOGボシエが置いてあれば、それ以上の宣伝はないですからね」

## 実車を見てもらうのは 最高の宣伝・広告



奥さまに直接声をかけてJOGボシエについてたずねてくる人や、車両に貼られたステッカーを頼りにお店に問い合わせを入れてくる人がいたりとその効果は大きいという。

「だけどこれらの作業は、日常の宣伝・広告活動の基盤があってこそできるものだと考えています。すべて来店を想定したうえで戦略なわけですから。それより、店の存在と印象づけるベシクな宣伝の大切さを忘れたくありませんね」



## 原付受験は大チョンボでリタイア ライダーになる日、大幅順延

**16** 歳になった。B君はついに免許取得年齢に達した。勇んでB君は“原付受験”に出かけた。結果は？ 後で触れるとして、B君の誕生日はタイミング悪く、期末試験のちょうど1週間だった。

「とにかく勉強は手につかず、バイクの免許のことばかり、さすがに言ってやりましたよ」と母親は、今までにない強い調子で学業に専念するよう説教したのだと苦笑する。

中間試験はサンタンたる結果に終わり、三者面談で、担任から田舎の学校を軽視しているフシがある、と嚴重注意を受けていただけに、目を三角にする母親の気持ちも分からないでもない。しかし、と父親はB君の原付受験をOKした。そのほうが、スッキリ期末試験に打ち込めると判断したからだと言う。

「それにしても、何でバイクの免許ごときに親がこんなに気をもむのかね、バカバカしい」両親の偽らざる心境にちがいない。

さて、B君の受験だが、まったくもって大爆笑のものであったらしい。埼玉県大宮市の試験場に、登校よりも2時間も早く家を出たかきもなく「ここでは原付試験は行なっていない」の一言。出鼻をくじかれたB君、変わり身も早く16歳の翌日、即行受験！ の決意もまるで通り雨。「夏休み中に絶対とるからね」と、これまたまるで親に頼まれたように宣言したのだそうだ。どうもB君は宣言するのが得意らしい。

50ccのトレールモデルからバイクライフをスタートさせようとしているB君宅には250、125、50といずれもオフロードバイクのみだが揃っている。

父親がモトクロスやエンデューロレース、林道ツーリング志向ということもあるが、いずれにせよ恵まれた環境といえる。そんな父親は、楽しませてくれたバイクを共有したいし、譲り渡したいと秘かに思っている。だか



らB君にことあるごとにオフロードバイクの楽しい世界のみをインプットしてきた。

**B**君はしかし、父親の中古車にはまったく興味を示さないのだ、という。「あれはオヤジの思い出がつまったバイクなんだ。僕は僕のバイクを持っていたいんだ。DT50を欲しいと思っているんだけど、それは50のレーサーレプリカだと、この辺りを走っている連中と同じように大人は見られるだろう。大人がどう思うと関係ねーけど、好きじゃないね、あのタイプは。

DT50でみっちり腕を上げて…。うまくなりたいもんね、やっぱり。テクニックをみかくのにはオフロードを走るのが一番早道だって、雑誌にも書いていたしね」

そんなB君の話聞きながら父親は、なにがテクニックだ、その前にDT50を手に入れる算段を考えろ！ 本当にバイクに乗りたいのなら、中古車だっていいはずだ。格好ばかり気にしやがって…。

以来、父親は息子とはバイクのバの字も話していないのだと苦笑する。

そういえば息子には、自立とか独立という言葉から受ける凜凜しさが無い。いかん、と父親は痛感した。

バイク乗りは凜凜しくあってはじめてライダーと呼称されるのだ。

以来、父親は「お父さん、近くに知り合いのバイクショップある？」とスリ寄るB君にそんなもん自分で開拓しろ！

「中型取る時に、オジさん(教習所教官)に頼んでくれるかなあ」

お前がオジさんをお願いしろ！ その前に原付にパスしろ！ その前に、生活のメリハリをつけろ！ 深夜までロードレース観てんじゃねえ。

息子の甘えの体質が、かくのごとくの会話や素振りて改良されるわけではないと思っているが、いじわるオヤジに徹しているのだという。B君！ オヤジを乗り越えろ！！



New  
MODEL

欧州で磨かれた本物の風

ディバージョン

# Diversion600

ヤマハスポーツ

メーカー希望小売価格：¥569,000(北海道、沖縄および一部離島を除く)

カラーリング：ビビッドレッドカクテル1 ベリーダークブルーメタリック3

8月6日  
新発売



ビビッドレッドカクテル1

常用走行域での快適性を重要視し、発売以来ヨーロッパ市場を席卷し続けるXJ600が、いよいよ国内発売されます。

昨年発売されたDiversionの高級モデルとして設定されたモデルで、車体の一部変更などを行ない国内向けとして新たに企画。ユニークな空冷システムを持つ前傾エンジン、長距離ツーリングにも快適な走行性を生む出力特性、低中速での心地良い風と高速プロテクション効果を調和させたエアロカウルを採用などが、主な特徴となっています。

#### ■ディバージョン600仕様諸元

- 全長2155mm ●全幅750mm ●全高1230mm ●シート高770mm ●軸間距離1445mm
- 最低地上高155mm ●乾燥重量190kg ●舗装平坦路燃費39km/ℓ(60km/h)
- 最小回転半径2.6m ●制動停止距離14m(50km/h) ●エンジン4サイクル・空冷・DOHC・2バルブ・並列4気筒 598cc ●内径×行程58.5mm×55.7mm
- 圧縮比10.0:1 ●最高出力57ps/8000rpm ●最大トルク5.3kg-m/7000rpm
- 潤滑方式ウェットサンプ ●オイル容量2.9ℓ ●タンク容量17ℓ ●キャブレター型式B D S T 28×4



ベリーダークブルーメタリック3



充実のコンチネンタルトレール

アルティシア

Artesia

8月27日  
新発売

メーカー希望小売価格：¥459,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

カラーリング：ストロングブルー



■XV400ピラーゴの主な変更点

1. クロームメッキパーツの新採用

クロームメッキ処理をエンジンケースカバー、キャブレターカバー、ブレーキ・クラッチレバー、フロントフォークキャップ、ホーンカバーに施しました。

2. 快適な乗り心地を生むルーズクッションの採用

乗り心地の向上、外観商品性向上を図る、座り心地の良いルーズクッションを採用しました。

3. シーシーバーの標準装備

タンデムシートの快適な乗車性を図るために、シーシーバーを標準装備しました。アルミステアは、豪華なバフクリア処理を施しています。

4. ニュースピードメーターの採用

スピードメーターは文字盤色に紺色を採用、指針もニュータイプを採用しています。

5. その他の変更

①楕円型バックミラーの採用、②ブレーキホース外周にステンレス製スプリング巻きを追加、③ハザードランプ採用、④昼間自動点灯ヘッドライトの採用などを施しました。

高速クルージングから林道まで、道を選ばずに走る合理的な機能で人気を集めるアルティシアが、マイナーチェンジを受けて登場です。

主な変更点は●オフロード走破性を向上させるフロント/リアサスペンションのセッティング変更●サスペンション追従性をアップする軽量アルミリムの採用●扱い易い可倒式ブレーキペダルの採用●機能重視のリヤキャリア、キックセットをオプション追加——など。またこれにともない力強く爽快な印象のニューカラーとしました。



グリーニッシュブラック





ミヤビマルーン

■XV250ビラーゴの主な変更点

1. クロームメッキパーツの新採用  
クロームメッキ処理を、エンジンのヘッドカバー、クランクケースカバー、ホーンカバー、フューエルポンプカバー、スプロケットカバーに新たに追加しました。
2. 快適な乗り心地を生むルーズクッションの採用
3. ニュースピードメーターの採用
4. その他の変更
  - ①ブレーキホースの外周にステンレス製スプリング巻きを追加、②昼間自動点灯ヘッドライトの採用とそれに伴う発電機出力の向上、③「XV400ビラーゴ」タイプのハンドルグリップ採用、④リアショックアブソーバーにアウトカーカバー追加、⑤エンジン廻りのボルトにヘキサゴンタイプの採用、⑥「XV400ビラーゴ」タイプのアルミリヤフットレストの採用、などを施しています。



ブラックゴールド

心地よいVの鼓動——乗り味、輝く!

ヤマハスポーツ

# XV250/400 Virago

XV250ビラーゴ  
8月27日発売

メーカー希望小売価格：XV250/¥429,000 XV400/¥559,000(北海道、沖縄および一部離島を除く)  
カラーリング：【XV250ビラーゴ】ブラックゴールド、ミヤビマルーン、【XV400ビラーゴ】グリーンニッシュブラック、レッドスパークル

Vツインエンジンが生み出す独特の鼓動と乗り味を、本格アメリカンスタイルにつめ込んだXV250/400ビラーゴが、乗車感、外観クオリティを大幅にアップさせました。どうぞ、幅広いお客さまにご案内ください。

XV400ビラーゴ  
8月6日発売



レッドスパークル

※メーカー希望小売価格には、保険料、税金(含む消費税)登録にともなう諸費用は含まれません。



ヘルメットのデュアルパーパスモデル

# YJX

オフロードヘルメット

¥18,500

規格：JIS・C種、MFJ公認  
カラー：白 サイズ：S、M、L

定評のFLEX-FRP II積層構造の軽量帽体をベースに、可動バイザーやダイレクトベンチレーションシステムを装備して快適性を追求したジェット型のオフロードヘルメットです。オフロードライディングのあらゆるシーンにマッチする機能とデザインを、どうぞお客さまにご案内ください。

■主な特徴

- 諸条件に合わせ、好みの位置にセットできる可動バイザー
- 開閉式ダイレクトベンチレーションシステム
- 2種類の素材を使い分けた肌ざわりと風抜けの良い内装メッシュ生地
- 高フィット内装
- ゴーグルをしっかりと収めるサイドカッティングライン



スクーター用ヘルメット

ひとクラス上のクオリティ

SL-8E CECIL

セシル・トレモロ

# Tremolo

¥10,800 規格：JIS-A種

カラー：シルキーホワイト、キャンディレッド、キャンディブルー、キャンディグリーン

サイズ：フリー

女性用スクーターヘルメットとして好評を博すセシルの上級モデルです。従来の特徴はそのままに、手塗りのキャンディカラーとヘルメット初の立体エンブレム、さらにダークブルーの内装の採用で、グレード感を大きくアップしました。



キャンディグリーン



キャンディレッド



キャンディブルー



シルキーホワイト

※表示価格はメーカー希望小売価格です。価格には消費税は含まれておりません。

## ツーリングには大変便利な高速道路 使いたくなる今が要注意!

**ラ**イダー待望の夏休みシーズンが始まりました。なかなか長期休暇が取れない会社人をはじめ、このチャンスにあちこちロングツーリングに出かける人も多いことでしょう。

いつもより乗車回数、距離、時間が増えますし、バイクだけでなく交通量全体が急増、混雑する時なので、改めて安全への気配ばりを徹底したいものです。

さて、そんなとき、ツーリング距離が長ければ長いほど利用したくなるのが高速道路。厳密には、高速自動車国道（東名、中央、東北縦貫、名神など）と自動車専用道路（首都高速、第三京浜、阪神高速など）の2つがあり、総全長は延べ5816.2km。

特に、青森から熊本までは1本につながれ、その気にさえなればノンストップで走り切れるほど整備が進んでいます。

移動の時間や距離を短縮したい時など本当に便利なものだけに、今後さらに整備され利用も拡大していくことでしょうが、その最大のメリットである“スピードの高さ”は一歩間違えれば両刃の剣になりかねません。

一昨年のデータによると、一般道、高速道などを含めたすべての交通事故に対する死亡事故は、およそ60件に1件。

しかし、高速道路ではそれが23件に1件の割合となり、さらに二輪車に限ってみれば昨年180件の事故のうち23件が死亡事故で、およそ8件に1件という高い割合を示しています。

二輪車はただでさえライダーの体が大きく露出する乗り物であり、一度事故を起こせば

必ずといっていいほど体を傷めてしまうもの。まして、それがハイスピードで走行する高速道路だったらどうなるか、ということも、如実に表わしているわけです。

特に、高速道路の利用が増える8月は、事故発生率が1年で最も高まる月。十分な注意を促しましょう。

**で**は、次にどういう点に気を配る必要があるのでしょうか。

残念ながら、二輪車だけのデータがないのですが、一般的に高速道路での事故が多発するのは以下のような時です。

①土曜日②朝・夕・夜中③雨の日

①土曜日は、事故発生数で日曜に次ぐ2番目、死亡事故数で木曜と並び最も多かった日です。②時間帯では、7時～9時、10時～11時という朝の通勤、仕事開始の時間と、16時～19時の帰宅、帰宅時間で発生率が高く、死亡事故は0時～7時までの深夜～早朝に最も多くなっています。③天候別でみると、晴れ

の日の方が交通量が多いせいも、発生数は多いのですが、路面状態の悪い雨のほうがやはり死亡事故につながりやすいようです。

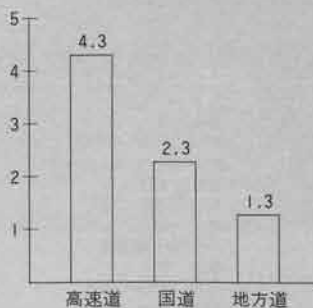
その原因となっているのは何か、を調べてみると、まず第1にあがるのがスピード超過。続いて漫然運転、前方不注意となっています。

特にスピードの出し過ぎは、視界を狭くしてしまったり運転操作を誤ったりしやすくなるほか、二輪車の場合はライダーが受ける風の強さも増すため、体に大きな負担がかかります。二輪車の制限速度は80km/h、という意味をよく考えて走行するようアドバイスしましょう。

また、雨は体力、視界、路面状況を著しく低下させる、二輪車にとっては最悪のコンディションです。

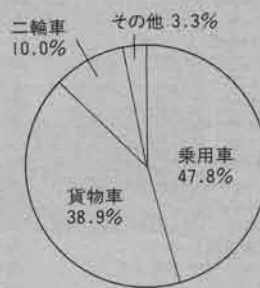
基本的な姿勢としては、絶対にムリをしないこと。運転するのが辛い、と感じたら、ためらわず休憩を取り、コンディションを整え直して走る余裕が欲しいものです。

■道路別死亡事故率  
(死亡事故件数÷全事故件数×100)



(データ:1990年、警察庁)

■高速道路死亡事故の車種別構成比



(データ:1991年、警察庁)

読んで、正しく、安全運転。

●原点にもう一度 ●初歩的な違反事故をなくしましょう

わかりやすい「バイクと法令」監修 警察庁交通局  
原付用「学科試験模擬テスト集」



これから取る方にうれしい2冊  
バイク「免許皆伝」!  
もう取った方にうれしい1冊

お求めは…二普協加盟の二輪販売店で。



見る・見られる、いい運転。  
●バイクは健康もサポート  
●カーブ・急降下では、スローインクッション



## SALES

### スポーツ・ニューモデル導入に合わせ 賑やかな店頭演出で盛り上げよう!

スポーツバイクの魅力が大きくクロ  
ーズアップされるシーズンです。店頭  
には、人気のSRV250やセロー2  
25などがズラリと並び、多くのお客  
さまの目をひいていることでしょう。  
二つ時期に大切なのは、常に展  
示車両をさらさないよう、そしてお客  
さまの憧れを誘う演出で飾っておくこ

## SERVICE

### すべてはサービス力向上による お客さまの高い満足を得るために!

バイクシーズンたけなわの季節とな  
りました。待望の夏休みを、バイクと  
ともに過ごすという計画しているお客さ  
まが、店にもきつと数多くいらっしゃ  
ることでしょう。

そうした楽しみを、しっかりとしたメ  
ンテナンスで支えてあげることが、お  
店の最も大切なアフターサービスのひ  
とつ。旅先で不要なトラブルが発生し  
ないよう、ぜひお出かけ前の点検をお  
勧めください。

もちろん、それには確実なサービス  
技術を備えたスタッフの充実が不可欠  
『ヤマハ二輪車整備士講習会』で、よ  
り高い技術力の修得に心がけましょう。  
しかもサービス力の高さは、お店の  
信頼性をアピールする絶好の素材です。  
ヤマハ車を扱うプロショップの証しY  
TS(ヤマハ・テクニカルサービス・  
スター)店。資格を取得して、大いに  
お客さまにアピールください。  
また、日頃磨いたサービス力を競い

とです。

特にこれから、XJ6000Sデイベ  
ーション、XV400/250ピラー  
ブといったニューモデルも次々と店頭  
にやってきました。プロモーション用の  
各種ツールやオリジナルツールを工夫  
して、夏らしく明るく賑やかな店頭、  
店内演出でお客さまとのコミュニケー

ションをおはかりください。

これが成功するかどうかによって、  
DMやチラシといったアプローチで来  
店されたお客さまの心をつかめるかど  
うかも決まってきます。

日々の忙しさにまぎれて、基本的な  
準備を怠ってしまうことのないよう、  
くれぐれもよろしく願います。



- ① 告知シーリング(1800×900cm、6車種入り) ②のほり(1800×900cm) ③小冊子DM(XV、XJ、XT、SR、SRV、セロー)
- ④ 電飾ロゴプレート(XV、SR、セロー)

### ご活用ください! 『ON & OFF』ビデオ

ヤマハが毎週提供するスポーツ番組『ON & OFF』の、モーターサイクル編をまとめたビデオを製作しました。現在、'92年5月・6月の2ヵ月分を収録した第1巻があり、以後、2ヵ月分ずつ全4巻を発売する予定です。  
店頭でのB.G.V.として最適な1本、ぜひご活用ください。ご注文は、数に限りがありますのでお早めに各ヤマハ販売会社、特約店までお願いします。1本1500円。

### ■サービスマニュアル(8月追補版)

| モデル    | 注文No.        | 価格   |
|--------|--------------|------|
| XV400  | 3JB-28197-06 | ¥600 |
| XJ600S | 4HK-28197-05 | ¥600 |

※価格はメーカー希望小売価格です。消費税は含まれません。



◆'92ヤマハスターナメント  
日程/地区大会・10月上旬  
全国大会・10月29日  
会場/地区大会・各地区会場  
全国大会・つま恋(静岡県)  
※詳細は別途ご案内します。

### ヤマハ・テクニカルサービス・スター店制度 新規認定店のみなさん(敬称略)

#### シングル・スター

- 青森 今井モーターズ 岩手 サイクルセンターおのげん 南堀江輪業 花巻オート 岩崎モーターズ 小原笠輪業 ヒカリオート 山口輪店 ●秋田 エキスパート秋田 カマダサイクル ●山形 モトショップONE by ONE 富輪商会 片桐自転車店 ●千葉 YSP南房総 スポーツショップ栄光 南アビコモーターズ 越川モーターズ千葉店 auto shop KURITA ●東京 YOU SHOP サウスウインド 南ケーオーモーターサイクル商会 藤ギヤルン ●神奈川 YSP横浜緑 藤オートセンターズギヤマ モトウィン・マルフク 南ヤマトオートサービス 南江尻輪業 モトショップ葉山 ACROSS ●新潟 南テクニカルショップ イノウエ MOTOR SHOP ナカムラ 井島輪店 藤プライトン バイクランドやまぐち RSS高喜屋 ●岐阜 YSP岐阜 南 YOU SHOP ハトル

- 南小栗モーターズ 叶商会 オートショップ イワイ バイクショップ ミズタニ ●静岡 YOU SHOP イナバ YOU SHOP ヒヨシ YOU SHOP 三沢 YOU SHOP 山田 藤オートセンター静岡 BIKE SHOP GANBA 藤バイクセンター松下 登呂ホンダいろは店 南塚本バイク商会 モーターサイクル山崎 小林モーターズ 山下商会 勝山輪店 中野自転車店 藤川島モーターズ 藤古橋商会 三光モーターズ 南クラブ・シングルズ オートショップ西山 YAMAHA B・G・M 南バイクショップ 金時屋 ●愛知 YOU SHOP 神谷 チームびっくりマンモス 南ナリデンオートセンター 南セイフティモーター大進 南ビット・イン ふじながサイクル オートスポーツプラザ二輪倶楽部 南バイクショップ カツラガワ 協和自動車 藤 モトハウス21 ST ●滋賀 南オートギャラリー滋賀 プロショップ シモタニ モトハウス・チャンプ ●大阪 YSP門真 YOU SHOP レーシングランド三谷 YOU SHOP ナガオ YOU SHOP マエダ

- クロスポイント ビット・イン・リミ 東洋自動車 南モトショップ ビーグル 川端モーターズ ●兵庫 YOU SHOP ヒロイング YOU SHOP HAMADA ●島根 南共栄ホンダ販売 ●広島 半田モーターサイクル ●愛媛 菊間オート商会 三好自転車店 バイクロードフェニックス 永井双輪 毛利自転車商会 ●高知 オートショップ ZOO バイクショップ イノウエ バイクショップ ジュン 南オートショップ オジマ ●福岡 YOU SHOP B-FIELD オートショップ エレファント 小野山サイクル バイク屋まるい ●長崎 バイク屋七田長崎 ●熊本 YOU SHOP 浜田 南BIC Mile 城南モーターズ 松本サイクル プロサイクルショップ田中 カリツカモーターサイクル ●大分 レーシングショップ カツキ 矢野モーターズ ●鹿児島 YOU SHOP クマモト YOU SHOP 積 佐藤モーターズ モトファクトリー 榎園モーターズ

Y. E. S. S.

## いつも忘れずにいたい安全運転と 思いやりの心『ナイスライド募金』

海へ山へ、バイクを使って旅に出る  
もよし、エンデューローレースやミニバ  
イクレースで汗を流すもよし。バイク  
でいろいろな楽しみ方ができるシース  
ンになりました。

しかし、それも安全でゆとりあるラ  
イディングが続いているからこそ味わ  
えるものです。もしも体にケガをした  
り、ハンデを背負っていたりすれば、  
はたして思いどおりのバイクライフを  
送れたでしょうか。

手を貸してあげたいと思うやさしさも  
大切なこと。現在、Y.E.S.S.が年間キ  
ャンペーンとして行なっている『ナ  
イスライド募金』は、そんなライダーの  
思いやりの心を「目の不自由な人た  
ちに盲導犬を贈ろう」という形で表わし  
ています。

ここから秋、年末にかけて、一層安  
全運転を心がけていただくとともに、  
やさしさの証しへの協力を広く  
呼びかけてください。



SAFETY

## バイクとゆとりのいい関係を考える 8月19日『人とバイクの友好会議』

走る楽しさ、旅する楽しさ、自然の  
中へ飛び込む楽しさなど、バイクが持  
つ魅力は、日々の生活に大きなゆとり  
を与えてくれます。

同時に、バイク本来の楽しさを満喫  
するためには、心に余裕を持った安全  
なライディングが不可欠です。

ゲストに女優の伊藤かずえさん、俳優  
の山口良一さん、野球解説者でおなじ  
み岡正三さん、そしてバイクによる  
北極、南極の両極点突破を達成した風  
間深志さんが予定されています。



## 8月のヤマハ提供番組

ON AND OFF

陸と海、2つの大きなフィールドを  
舞台に展開するすばらしいヤマハワ  
ールドの数かずを紹介する番組です。

▼8月8日『マリン編』  
『アメリカの風①』  
▼8月15日『マリン編』  
『アメリカの風②』  
▼8月22日『バイク編』  
『アメリカを走る・V MAX』  
▼8月29日『バイク編』  
『アメリカを抱きしめたい』

巧みなカメラワークを駆使した美し  
い映像と選り抜いたBGMで、話題性  
に富んだテーマをスポーツマインドた  
つぷりにお届けします。

▼8月1日『バイク編』  
『僕はオフロードが好き!』

※都合により、一部内容が変更となる  
場合があります。  
※一部地域では放送日が異なります。

▼92ロードレース世界選手権  
世界のバイクファンを熱くさせずに  
はかない、ワールドグランプリの  
興奮を、千年屋俊幸アナウンサー、元  
GPライダー福田照男さんらの解説で  
お届けします。

W・レイニー、J・コジンスキーなど  
ヤマハライダーの活躍をじっくりお楽  
しみてください。

TXN系列6局/毎週日曜日24時30  
分から25時25分。テレビ静岡/毎週火  
曜日25時20分から26時15分。

日本テレビ系列全国29局ネット。ヤ  
マハ提供・毎週月曜日23時12分55分。  
オリジナルコンサート  
私たちの創った世界  
世界各国で精力的に活動を続けてい  
る勸ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教  
室」そこで育った世界の子どもたちに  
よる自作自演コンサートの模様をお届  
けします。日曜の朝すがすがしく彩  
る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽  
しみてください。テレビ朝日系全国17局  
ネット・放送日/毎週日曜日。放送時  
間/7時30分から8時



## わが子「TY250Z」で走る！ 木村治男、SSDTに賭けた夢



「お前がマシンをどれだけ愛しているのか試してやる。最愛の息子と思うならかつきてもゴールまで連れて行け」と、天の声を聞いた気がした……



ツルツルのロックセクションが連続するコース。加重や抜重も思うようにできず、とてつもない試練を味わった



スコットランドの広大な荒野約800kmを6日間で走り抜く

SSDT（スコティッシュ6日間トライアル）。毎年5月イギリス・スコットランド地方の荒野を6日間に渡って走り抜く耐久トライアル選手権で、トライアルライダーの間では世界一厳しい大会としてあまりにも有名です。フォートウィリアムという町を拠点に、東西南北へ移動しては戻ってくるというくり返しとなるこのコースは、ムーアと呼ばれる湿地帯が牙をむき、勾配の急な山々が壁となって前に立ちはだかる難所ぞろい。セクションの数は1日平均30個。ライダーとマシンはこの大自然との壮絶な一騎討ちを演じ続けるわけです。

そんな過酷な大会に、日本からひと

りの選手が17年振りに参戦しました。

木村治男さん38歳。1973年、ヤマハ発動機に入社。1年目にして、その年から開催された全日本トライアル選手権の初代チャンピオンに輝いた実力を持つライダーであると共に、ヤマハモーターサイクル開発スタッフとして、TY250スコティッシュ、XT600テネレ、YZ250など、主にオフロードバイクの開発を手掛けてきたエンジニア。

その木村さんがSSDTに初めて参加したのは入社2年目のことでした。

「当時の僕は全日本チャンプを取ったばかりで鼻息もかなり荒く、その勢いでSSDTに殴り込みをかけたのですが、結果は271台中83位。大自然の厳しい洗礼を受けて、競技中に衝突やパンクなど次々にトラブルが発生してしまい、マシンもろとも、ガタガタポロポロになってしまいました」と流暢に話します。

帰国後はしばらくはショックと疲労で、じっとしているしかなかったそうです。が、やがて「もう一度納得のいくマシンをつくらなければならない」と一念発起。それから17年、年ごとに落ちていく体力やテクニクは時の流れを思えば当然なのですが、それを何とか少しでも食い止めようとトレーニングで鍛えてきました。それでも、開発担当者として自分自身でニューモデルを持ち込んで実力をアピールできるのは、きっと92年が最後のチャンスだ」と、木村さんはトライアルライダーとしての自分にひとつの区切りをつける決心をしました。

そして91年10月、ここから木村さんの新たなSSDTへの挑戦が始まったのです。

SSDTに向けて開発するのは市販トライアルマシンTY250Rの後継車TY250Z。

「今回も大勢の優秀なスタッフに恵ま



木村さん(右側)にとって、元トライアル世界選手権チャンプのミックさん(中央)は恩師。久しぶりの再会で話がはずんだ。奥さんのジルさんも優しく出迎えてくれた

れたおかげ」で、このTYプロジェクトは順風満帆。もちろん木村さんも全身全霊を傾けて参加し、急ピッチの開発が進められました。

つまり、SSDTはTY250Zが市販モデルとしての資質を問われる大事なデビューレースであり、ライダーを務める木村さんは、その肩に大きな期待と重圧を背負っていたのです。

しかし、5月4日、でき上がったばかりのニューマシンTY250Zとともにスタートラインに着いた時、木村さんは、「何はともあれここまでやって来たぞ」と、つい目が潤む思いだったといいます。

それから、木村さんと我が子ともいえるTY250Zとの、無我夢中の6日間が過ぎました。

「成績については、マシン本来のポテンシャルを考えれば、不本意でした。でも、ライダーとしての自分の力を考えれば納得のいく成績だったと思いますし、マシン自体の性能については、見てくれた人には十分にその能力が伝わったと信じています」

そのことほどおり、木村さんの情熱が形となったTY250Zは、これから世界中のトライアルファンに夢を与えていくことでしょう。

## 「こんな機会がもつとほしいな！」 YSP合同展示試乗会開催

SRV250やTDM850など、話題の92ヤマハスポーツモデルに、まず乗ってみたい、触れてみたい、というお客さまの声は、ハイシーズンを迎えていよいよ高まるばかりです。

しかし、一店舗の力では「試乗会場を確保することが難しい」、あるいは「何種類もの試乗用バイクは揃えきれない」といった悩みがあるのも事実。そこで、西東京地区にあるYSP12店は、一致協力してこれをクリア。

6月21日には国立市の日本自動車学校を借りて、「YSP合同展示試乗会」を開催しました。

この日は、試乗用としてTDM850やSRV250など話題のニューモデルを一挙20台用意しましたが、午前と午後に分けられた試乗タイムには、約300名もの希望者が殺到して大盛況。お目当てのマシンを次々に試乗して回る熱心なお客さまも見受けられました。

さらに、会場にはニューモデルはもちろんのこと、YSP12店舗が持ち寄った特選中古車100台と、周辺ではなかなか見ることができない91YZR



予想を上回る人数の試乗者で順番待ちも出るほど



教習所のコースを使っているYRS。参加者はその成果に満足そうだった

500や、海外ラリーで活躍するスーパーウェポン・XTZスーパーターネレ、風間深志氏が南極点到達に使用したワイスパードンサーも展示され話題を呼んでいました。

また、試乗会の合間には希望者を募って、YRS（ヤマハライディングスクール）も開催され、ライディングテクニックの上達を望むお客さまに対して、専任のインストラクターが指導、レベルごとのグループ分けによる丁寧な指導が人気を博したほか、空クジなしのお楽しみ抽選会やコーヒーのサービス、YEESステーションなども繰り出して午後4時の終了時間まで大変賑わいを見せていました。

「バイクは高い買い物ですから、乗って納得して買いたい。このような試乗会はいい機会ですね。できればもっと開催してもらいたいですね」とお客さまの評判も上々で、それぞれの店が出店したブースは、さっそく商談に訪れたお客さまや用品を買い求める人たちが大忙し。

「今日だけでなく、これからのシーズンに大きな手応えを得ました」など、嬉しそうな声があちらこちらで聞かれました。

## ツーリングしながらお勉強 戦国の舞台を巡る『信長ラリー』

はじめの梅雨をふっ飛ばせんとYSP名古屋北（大口厚社長）の元氣なツーリングクラブ、Wagamax Clubが中心となって、NHK大河ドラマでいま話題の『織田信長』ゆかりの地をバイクで訪ねて回る『信長ラリー』が7月12日に行なわれました。



\*墨俣一夜城では戦国時代についての簡単な講義をうける

このラリーは、YEESイベントに3回参加すれば素敵なプレゼントがもらえるという、ヤマハ中部株主催のYEESチャレンジ3回、キャンペーンの一環で今回は男女合わせて18名が参加。当日は、午前10時にYSP名古屋北さんを出発。最初の目的地、信長オーブンセット（岐阜市）へと国道41号線を北上。到着後は全員で記念撮影をしたり、おみやげ物の屋台でラムネを飲んだり、買い物を楽しんだ後は、金華山のふもとで長川河川敷での昼食。美しい風景のなか、賑やかなおしゃべりをかわしながらお弁当に舌鼓をうっていました。

午後には、秀吉が一夜にして築城したといわれる、墨俣一夜城、や岐阜町の『歴史民俗資料館』を見学。「なんだか修学旅行みたいで懐かしい!」と



青空の下、おいしいお弁当に下づつみをうつ。この日のツーリングは約100kmの走行となった



日頃ツーリング慣れている参加者が多く、リーダーを先頭にきちんとした安全走行をしていた

## 好記録続出のヤマハ艇 「ゴギト1号」全国大会へ

先ごろ開催された世界最高峰のヨットレース「アメリカズ・カップ」ではイタリヤを始めとした世界の強豪相手に、初挑戦ながら準決勝進出という好成績を収めた「ゴギト1号」艇に代表されるように、ヤマハの技術や製品の優秀性は世界でも高い評価をうけています。

そんななかで、ヤマハはちよつと異色のカテゴリでも注目を浴びています。今年で第2回を迎える『夢の船コンテスト』（主催・日本船舶振興会、後援・運輸省/関東陸運局）がそれで、昨年は「人カスピード船」部門で、ヤ

マハの「フェニックス号」が見事に優勝を飾っています。

今年も6月12日に浜名湖で予選会が行なわれており、同部門に出場したヤマハの「ゴギト1号」は、スタートダッシュから他の艇を全く寄せつけない圧倒的なスピードで優勝して全国大会出場を決めました。

全国大会は、8月1・2日に平和島競艇場で開催されますが、ダントツの速さをみせつけたヤマハの新鋭艇とヤマハマンパワーのコンビが再びどんな活躍をみせてくれるのか大いに楽しみます。



①艇の性能だけでなく、勝利するためにはマンパワーも重要な要素となっている

②昨年、全国優勝した「フェニックス号」の記録43秒24を上回る42秒63という好記録をマークした





## '93ヤマハカレンダー 8月より予約受付開始!

毎年、好評をいただいているヤマハカレンダーの、'93年版が間もなく完成いたします。

つきましては、8月18日より注文予約を開始しますので、ぜひみなさんのお店でもご利用ください。

今回は、おなじみレーシングカレンダー「ヤマハレーシングスピリット」や



店名刷込例

## '92 YAMAHA NOVELTY

— 素敵な旅をバックアップ —



■ポストバック  
(No.373026/8000円)  
旅行用のバックに求められるのは何といても収納力。24×45×21.5cmのサイズがあれば2泊3日程の小旅行にはもってこい。また、713gと軽量なので余分な負担を与えず疲れません。

■トラベルクロック  
(No.373086/4000円)

旅先での貴重な時間、有効に利用したいですね。目覚ましアラーム付きだから、うっかり寝すごしたなんてミスはシャットアウト。携帯性もバツグンです。



■トラベルシェーバー  
(No.373090/5500円)

シェーバーでは定評のあるブラウン社製。電源は乾電池を使用しているので使う場所を選びません。旅先でも身だしなみに気を使うオシャレなライダーにぴったりです。



■キャリア&チェア  
(No.373015/8000円)

スーツケースや重い荷物を運ぶキャリアと折りたたみチェアがセットしました。長期間の旅行に便利なアイデア商品です。

■企業カレンダー  
「ヤマハビュティフルワールド」  
サイズ/たて36・4×横51・5 cm  
枚数/表紙1枚+本紙12枚  
印刷/表紙2色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)

■大漁カレンダー  
「大漁」  
サイズ/たて36・4×横51・5 cm  
枚数/表紙1枚+本紙12枚  
印刷/表紙2色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)

■レーシングカレンダー  
「レーシング・ザ・ヤマハスピリット」  
サイズ/たて51・5×横72・8 cm  
枚数/表紙1枚+本紙6枚  
印刷/表紙2色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)

■マリンイメージカレンダー  
「ウインド&ウェーブ1993」  
サイズ/たて36・4×横51・5 cm  
枚数/表紙1枚+本紙12枚  
印刷/表紙4色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)

■マリンスポーツカレンダー  
「シースプレー」  
サイズ/たて51・5×横72・8 cm  
枚数/表紙1枚+本紙6枚  
印刷/表紙2色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)

■マリンスポーツカレンダー  
「シースプレー」  
サイズ/たて51・5×横72・8 cm  
枚数/表紙1枚+本紙6枚  
印刷/表紙2色+本紙4色  
価格/500円(一部・店名刷込み)  
450円(一部・店名なし)



バイクで行く世界一周ガイドブック  
かつて、2年半に渡り、ヤマハSRX400に乗って、世界一周ツーリングを行なった堀口誠さん。  
「バイクで行く世界一周ガイドブック」

## 実践的なノウハウ、情報が満載! 海外ツアー期待のガイドブック

は著者である堀口さん自身が訪れた国々を中心に、ツアーにとって本当に必要な情報だけがわかりやすくまとめられています。

例えば、バイクを海外に移送する方法や通関のことはじめ、ガソリンスタンドの位置までわかる詳細な地図、入国事情、道路状況、バイクショップの有無など、知っていることによつて旅の安全や自由度が大きく増すものばかりです。

お店でも、海外ツーリングを予定されているお客さまにお薦めしてみたいかがでしょうか。  
●ミリオン出版・刊 2900円



北海道の魅力を余すところなく紹介ライダーのための「ガイドブック」  
手付かずの自然が残されている北の大地「北海道」をツーリングすることは、特に都会の雑踏の中に暮らすライダーにとって夢であり、憧れでもあります。

そんなライダー達のために、北海道をまるごと紹介してくれる心強い味方が「北海道ツーリングガイド」です。道内の名所や穴場などのツーリングスポットや、味・道・温泉など知っておきたい情報がイラストや写真でふん



だんに紹介されています。さらに、ツーリングにかかすことのできない「宿」は安心して利用できるユースホステルや民宿などが多数リストアップされていてとっても便利です。  
●成美堂出版・刊 1300円



0.001秒差で岡田を押えた原田。帰国後のレースが楽しみだ



500ccクラスではK・マギーが優勝。ランキングでも藤原を抜きトップに立った

第6戦・鈴鹿大会で岡田との大バトルの末、前代未聞の同着優勝となった原田。「自分では勝てたという自信がある。今度はきっちり優勝をつける」

続く第7戦・SUGO大会も、予想どおりこの2人が予選から激しくぶつかる。原田は1分33秒373のコースレコードをマークするが、岡田はこれをコンマ15秒ほど上回るタイムでポールを獲得。予選2番手からスタートした原田はホールショットこそ奪われたものの、ラインをクロスさせながらトップを伺う。20ラップで6度順位を入れ替える2人。最終ラップの最終シケインは岡田が前。ここ

で原田は岡田のスキをつき、上りでの勝負にでる。もつれるようにグラッドスタント前に現われた。第3戦のこのSUGOで0.002秒差で岡田に差されたその屈辱を晴らすかのように、原田のマシンが前にでた。1/1000秒差。原田が今季3勝目を挙げた。

「今回は勝ったと思った。本当は引き離したかったけど、これで第3戦のお返しができると思います」

原田は第8戦までのインターバルに、WGPを観戦する。何かを得て帰ると日本を後にした原田。富士での走りに期待が集まる。

# RR

## ●全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦・SUGO大会

### 同着優勝後の大接戦は

### 1/1000秒差で原田に軍配

#### ●全日本ロードレース選手権

第6戦・鈴鹿200km大会(6/21)  
(500クラス)

①藤原儀彦 ②本間利彦 ③D・ビーティ

④K・マギー ⑤辻本聡 ⑥新阪朗

(250クラス)

①岡田忠之 ②原田哲也 ③留智学

④沼田憲保 ⑤難波恭司 ⑥青木和磨

(F-1クラス)

①氷井康友 ②S・ジャイルス ③北川圭一

④吉川和久 ⑤白井哲也 ⑥小林敏也

#### ●世界選手権ロードレース

第7戦・ドイツGP(6/14)

①M・ドゥーハン ②K・シュワツ ③W・

ガードナー ④A・クリビール ⑤J・コン

シンスキー ⑥E・ローソン

第7戦・SUGO大会(7/5)

(500クラス)

①K・マギー ②伊藤真一 ③D・ビーティ

④藤原儀彦 ⑤岩橋健一郎 ⑥新阪朗

(250クラス)

①原田哲也 ②岡田忠之 ③青木宣篤

④青木和磨 ⑤芳賀健輔 ⑥高崎敬

(F-1クラス)

①塚本昭一 ②宗和孝宏 ③北川圭一

④氷井康友 ⑤柳川明 ⑥白井哲也

第8戦・オランダGP(6/27)

①A・クリビール ②J・コンシンスキー ③

A・バロス ④J・ガリガ ⑤R・マモラ

⑥M・デュハメル

# Racing RExpress

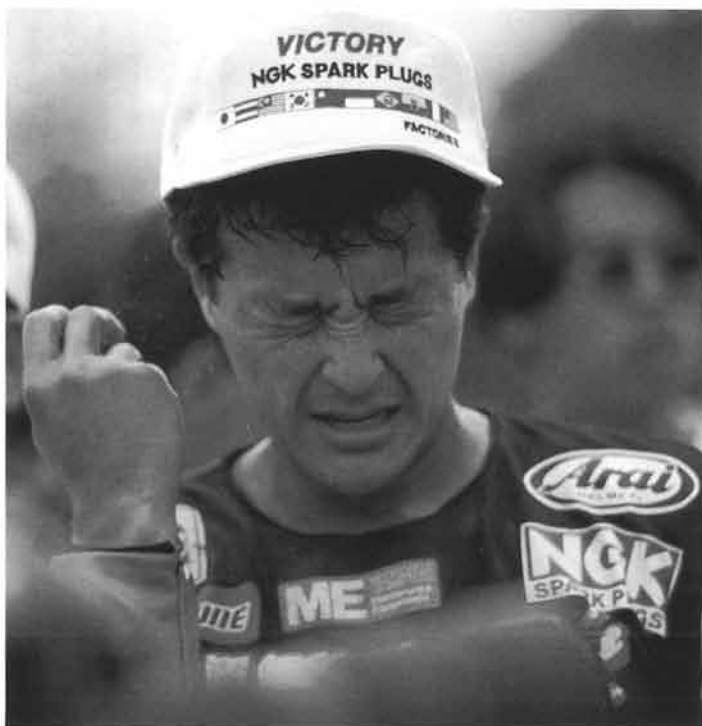




●全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦・SUGO大会  
YZM250再登場  
田淵武が2位に導く



予選でのトラブルを挽回した田淵②の思い切った1コーナーの突込み



フィニッシュ後の表情で、いかにレースがタフだったかがわかる

光安鉄美、川崎智之の両ワークスライダーがともにケガのため欠場した第7戦・SUGO大会には、開幕戦で登場したりヤシヨックにリーフスプリングを採用した全く新しいマシン、YZM250が久々に登場。田淵武1人がこのマシンを走らせることになった。

予選ヒートで好スタートを切った田淵は、今シーズン好調の大河原功次を従えトップを走行したものの、下りのジャンプで大転倒。マシントラブルが発生、周遅れとなってしまった。

本来予選落ちの順位ながら、シード権を持つ田淵。もっとも不利とされるアウト側のグリッドからのスタートとなった。出遅れるとそこから追い上げが効かない今の全日本では、確かに大きなハン

ディ。しかし、スタートの良い田淵は誰もが驚くようなタツシュを決めた。

スタートした集団が右ターンを始めてもYZMはアクセルを戻さず直進。アウトのバンクにぶつかるとして向きを変えホールショットのウォーレンの真後ろにつけてトップ争いを展開。観衆を大いに沸かせた。

「スタートは開き直って思い切り飛び出した。本当は（YZMを）勝たせたかった」と、2位でレースを終了した直後にコメントする田淵。続く第8戦、北海道大会ではトラブルにより成績を残せなかったが、体調の良さがようやく成績に現れてきた。チームYZの若手の活躍が目立つ今シーズンだが、後半はワークス本来の力が発揮されそうだ。

●全日本モトクロス選手権

第7戦・SUGO大会(6/14)

- 〈ヒート1〉  
①E・ウォーレン ②田淵武 ③花田茂樹  
④大河原功次 ⑤岡部篤史 ⑥鈴木健二  
〈ヒート2〉  
①E・ウォーレン ②鈴木健二 ③大塚忠和  
④田島久話 ⑤佐々木博幸 ⑥田淵武

第8戦・北海道大会(7/5)

- 〈ヒート1〉  
①E・ウォーレン ②花田茂樹 ③高木崇雅  
④大河原功次 ⑤馬場善人 ⑥鈴木健二  
〈ヒート2〉  
①高木崇雅 ②E・ウォーレン ③長沼朝之  
④佐々木博幸 ⑤河合憲二 ⑥樺本正則

**Racing**  
**RE**xpress

WORLD



# ●世界選手権モトクロスシリーズ シュミット、プザール、ムーア ヤマハ勢が壮絶な タイトル争いを展開

今年の世界選手権モトクロスシリーズはヤマハライダーの活躍で盛り上がっている。

今、最も乗れているのは、'90年125ccクラスのチャンプ、D・シュミット。250ccにステップアップした今シーズン、第4戦ヒート1でクラス初優勝を遂げると、続くヒート2、3も制し、3ヒート制になって初めての完全優勝を達成。第5戦でもまた3ヒートを制し完全、第7戦までに計9ヒートに優勝し、ポイントランキングもトップに立っている。

これに続くのがイタリアの人気者、A・プザール。第3戦で総合優勝を果たしたプザールは、ヒート優勝こそ1回だが、安定した走りのポイント稼ぎランキング2位。'90年に続き2度目のタイトルを狙っている。

シュミット同様125ccクラスからコンバートしたR・ムーアも好調だ。2度



シュミット(上)、プザール(左下)、ムーア。三つ巴のタイトル争いは最終戦までもつれ込みそうだ



のヒート優勝、第6戦では総合優勝もきめている。トップのシュミットとのポイント差は49。残りの5戦、15ヒートを考えると十分にタイトルを獲得する位置に付けているといえる。

シリーズは7月に2戦、8月に2戦を消化し、最終戦の日本GPを迎える。何が起るか分からないのがレースだが、チャンピオンに最も近い位置にランクするこの3人の活躍に、最後まで注目したい。



# ●全日本トライアル選手権シリーズ第3戦・関東大会 中川義博、バンクで後退 無念の9位で競技終了

「1ラップ目からついていければ、絶対にチャンスはある。第2戦を3位で終了した中川義博が、2連勝をマークしたP・クトゥリエとの差についてこう話した。

6月28日、約1カ月のインターバルをおいて開催された第3戦・関東大会ではその言葉どおり1ラップ目からクトゥリエに迫る。クトゥリエ減点18、中川20。

その差2ポイントで迎えた2ラップ目、クトゥリエは1ラップ目を上回る気迫でクリンを連発。中川との差を開きにかかると「同じペースでまわっていたので、クトゥリエのスパートは分かっていた。確か



素晴らしいトライを見せた中川。TYMIについては「問題ないよ。何なら乗ってみる?」と、その仕上がりに自信を持っている

にあのトライはすこかったけど、自分には自分なりにマイペースを守った」と中川引き離されてはいけない、一番集中力が必要なきにである。第7セクションのトライ中、大岩に飛び乗った瞬間、中川のリアタイヤのサイドウォールに亀裂が生じてしまった。

セクションアウトした中川にヤマハのサポートライダーが駆け寄り、修理済を手渡す。が、何本つかつても埋まらない。時間もなくなる。スペアホイルが届くまで、次のセクションをそのままトライするが、アウト出来ずに減点5。続

く2つのセクションではエンストをリカバでできず、減点5。ここで勝負がついた。気落ちしたのが、中川は第3ラップもくずれ、総減点86。9位。まさかの大敗を喫してしまう。「とにかく落ち着こう、それだけだった。TYMも調子良かった。自分は、まだまだ甘い」

誰も目から見ても、1ラップ目の中川は素晴しかったが、これもレース、セクション1の意地を見せるが、これらが正念場だ。

## ●世界選手権モトクロス

第5戦・ドイツGP(6/14)

<ヒート1>

①D・シュミット ②R・ムーア ③P・ヨハンソン

<ヒート2>

①D・シュミット ②R・ヘーリング ③P・ヨハンソン

<ヒート3>

①D・シュミット ②B・マンネ ③M・ベルブーツ

第6戦・イギリスGP(6/21)

<ヒート1>

①R・ヘーリング ②R・ムーア ③P・マリン

<ヒート2>

①R・ムーア ②D・シュミット ③T・パーカー

<ヒート3>

①D・シュミット ②R・ムーア ③M・ファンテン

第7戦・アイルランドGP(6/27)

<ヒート1>

①D・シュミット ②J・ドップ ③A・プザール

<ヒート2>

①D・シュミット ②A・プザール ③R・ムーア

<ヒート3>

①R・ヘーリング ②A・プザール ③R・ムーア

## ●全日本トライアル選手権

第3戦・関東大会(6/28)

①P・クトゥリエ ②小林直樹 ③三谷英明

④小谷徹 ⑤泉裕朗 ⑥内田哲也





# 一番楽しいシーズンだからこそ あらためて安全運転指導を徹底しよう

YSP 鷲の宮さん

東京都中野区

伊藤洋二郎社長

いよいよ突入した年に一度の夏休み。ロングツーリングに出かけるお客さまも、日に日に増えていくことだろう。しかし、乗車機会の増えるこの季節は、毎年事故の増加するシーズンでもある。そこで今回は安全運転指導に積極的に取り組む『YSP 鷲の宮』さんを訪ね、夏の安全運転について聞いてみた。



ツーリングは現場指導の舞台でもある。行きと帰りでまったく走りの違う人もいるとか



「安全運転講習会」などのイベントに参加するのは、意識の高いお客さま。今後の課題は、本来受講してほしい意識の低いライダーにどう呼びかけるかに絞られる(6/28・YRS東京より)

「事故というのは突発的に起こるものですが、運転者の意識次第でその確率はかなり低くなると思います。うちのお客さんを見ていても、このコは危ないな、この人は大丈夫だろうというのがある程度判断できますからね」

「YSP驚の宮」さんの伊藤洋二郎店長も、実は長いバイク歴の中でたった一度だけ事故に遭ったことがある。クルマの見落としによる右直事故だったが、「たとえ相手のミスにしても自分にスキがあったのが原因」と、当時を反省する。それだけにお客さまへの安全運転指導には、熱意をもって当たっている。

同店の安全運転指導の核となっているのは、近隣のバイクショップ約20店と警察署の協力による「野方セーフティライダース」の諸活動だ。この団体は地域のライダーを健全に育て、事故の防止に役立てるために設立されたもので、主に安全運転講習会などの活動を行っている。とりわけ伊藤店長らが率先して街頭に立ち、道行くライダーに安全運転を呼びかけるピラをまく運動は、高い効果をもつものとして注目を浴びている。

「いずれにしても単店でできる活動には限界

があります。事故をなくしたいという気持ちはみんな同じわけですから、こうした活動は有意義だと思えますね」

しかし、安全運転講習会にも問題がないわけではない。前述の伊藤店長の言葉にもあるように、事故は運転者の意識に依るところが大いにも関わらず、意識の低いライダーほどいくらか誘っても参加しない。こうしたイベントに積極的なのは、いつも事故の確率の低い意識を持ったライダーなのだ。

「ツーリングと一緒にいくとよく分かるんですよ。このコには一度ちゃんと教えてあげないと、いつかは事故するな、というのが。そうしたお客さんにはいつもこう話すんです。自分で上手いと思ってるようだけど、んでもない。嘘だと思ったらYRSロードスポーツトレーニング(サーキットラン)に行つてもらえ。自分がどれくらいヘタか分かるから。一度自信を失くした人たちは、もう無茶な運転はしなくなるものですよ」

バイク便のライダーをするお客さまの根岸宏光さん(21)もそのひとりだった。TZR



バイク便のライダー根岸さんは、YRSオフロードトレーニングに参加、「自分の実力を知りました」と話す

250Rを購入していただいたものの、根岸さんの走りは見えていて危ない。あまりかねた伊藤店長は、半ば強引にYRSを受講させた。当の根岸さんも「サーキットを走って自分の実力が分かった。街中での走り方もずいぶん変わった」と話している。

一方、JOZZZのお客さま久保順子さん(19)も、伊藤店長のアドバイスにより走りを変えたライダーのひとりだ。「別に無理な走りをしていったというわけじゃないんですが、彼女の場合は注意力が散漫なんです」とキツ



追突事故の経験がある久保さん。「それ以来店長の言うことは素直に聞いてます」とのことだった

いひと言。久保さん自身も「店に来るたびにうるさいほど店長に注意されて、自分でも気がつかないうちに慎重な運転になりました」と話している。

「残念ながらお客さん同士で安全運転について話し合うような雰囲気はまだできていません。ただ、そうした会話が自然に出てくる店にしたいとは思っています。とにかく楽しくバイクと付き合っても、事故してしまえばすべて台無し。ひとりでも事故を減らすために、ますます力を注ぎたいと思います」と伊藤店長。夏休みのバイクシーズンに向けて、さらに、口うるさい店長になっていくようだ。





# プロショップのノウハウで トライアル・エントリーの門を拡大 初心者対象のトライアル大会で「経験」をフィードバック

OUT OF FACTORY 福岡県春日市宝町4-1 ラインビル西村1F ☎092-585-1121

レース界に深く関わってきた  
プロ・ショップの社長

今回の取材から帰る道すがら、ふと考えたことがある。それは「毒と薬」ということだ。

お店を演出するとき、「個性」を全面に押し出すやり方がある。それが例えばショップの専門分野化であることもあるだろうし、まったくオートバイとは関係ない遊びが、ショップのカラーになることだってある。

ショップの個性化は、他の店との差別化につながる。お店の個性とお客さまの個性のベクトルが一致すれば、つながりは強固になる。

しかし、メリットとは表裏一体で、リスクも存在する。

お店の個性が理解できないお客さま、あるいはついていけないお客さまにとっては「個性」は敷居の高さに他ならないのではないだろうか。

個性には毒も薬も含まれる。盲目的な処方は危険なのではないだろうか。今回の取材先は九州のトライアル・プロショップ、「アウト・オブ・ファクトリー」である。

社長は阿部哲夫さん。

昭和30年生まれ、37歳の阿部さんは高校を出てヤマハに入社して以来、技術畑を歩いてきた。

「メカニック時代はロードも、モトクロスも、トライアルも、レースというレースはほとんどやりましたね」と気負いなく当時を話す。

阿部さんがメカニックとして付いた

80名近くの参加者が集まる「シロート・トライアル大会」は、各自の技量やスタイルに合わせて楽しめる人気イベント



### トライアルの敷居を低く「シロート・トライアル」

ワークスライダーはそれこそ多岐にわたる。中には懐かしい名前もある。今もレース界をリードしているライダーもいる。皆ヤマハのレース活動の屋台骨を支えてきたライダーばかりだ。さて、メカニックという側面に対して、阿部さんのもうひとつの顔はトライアルライダーとしての顔である。自身がメカニックであり、また開発者であり、そして責任の一端を担っていたヤマハ時代。ショップを出した現在もヤマハワークスライダー伊藤敦志選手のサポートライダーとして全日本選手権に参戦しているのである。

ヤマハを退社後、平成元年にお店を始めた阿部さん。裏方の仕事が多いとはいえ、ヤマハのレースの一翼を支えてきたその話は華やかだ。ワークスに関わってきた者として、メカニックはもちろん、トライアルライダーとしての腕も武器になる。

トライアルショップを始めた阿部さんにとって、「経験」が強烈なほどの個性になっていると感じた。話を聞いていてひとつ心配になった

ことがある。それはプロとして経験を重ねた阿部さんが、逆に素人の、お客さまの心を理解できなくなってしまうているのではということだった。阿部さんの経験がお店のカラーにはなるものの、毒もはらんでいるのではないだろうか。

阿部さんから意外な言葉を聞いた。「ヤマハにいたことは、どっちかというと言わないですよ。」  
 え？ ヤマハの、それもレースにかかわっていたことはお店の看板になるだろうに……？

「私の願いとしては、お客さまと同じレベル、同じ立場にいたんです。立い場に上下ができるとお客さまの素直な意見が聞けなくなりますから」

自分の「技」は「技」として内に持っていた方がいい。ことさらお客さまに話すことでない、というのだ。

では阿部さんの積み重ねてきた「経験」は、どのように店のカラーとして打ちだされているのだろう。

「僕はね、トライアルがまだまだマイナーな時代から乗ってきた。乗り始めた頃に、やっぱり販売店のお世話になったことがたくさんあるんですよ。だから今、逆に僕が皆さんのお世話をする番じゃないか、と思っています」

阿部さんが今取り組んでいるのは、人を育てることである。トライアルへ

のきっかけづくり、そして、楽しさを伝える。テクニクスのステップアップを図りたい者には手をさしのべる。

「今やっているのは「シロート・トライアル」と、戸塚トライアルスクール。シロート・トライアルは名前の通り、初心者も楽しめる競技会です。開催は年間5戦。コンセプトは「危なくなく、楽しく、難しくです」

阿部さんの音頭取りで始まったこの大会は当初30人から始まったものの、今では70名を超える人気イベントになっている。多数の参加に対して、お世話するスタッフは阿部さんを含めわずか3人。人件費を削って賞品代に回しています」と笑う。

初心者はどうしたら楽しめるのか、どう扱ったらいいのかがよく分からない。トライアルの楽しみの最初の扉を開けるのが、シロート・トライアルなのである。

「あくまで競技会として、順位はつけていません。このほうが真剣になれますから。ただし、用意した賞品はくじ引きでお渡ししていますよ、ハハハ」

競技は真剣に、賞品は公平に、楽しみはみんなです。リードする阿部さんの人柄がそのまま反映されたようなイベントである。

一方の戸塚トライアルスクールとは厳しく実戦的なのが特徴。初心者だけ

願いとしてはお客さまと同じレベル、立場にいたい  
 上下関係ができるとお客さまの素直な質問や意見が聞けなくなります





アウトドアの遊びの提案もショーリーム内のあるところにある

トライアルスクールや全日本などで休日はほとんど休業となる。初心者との個人的な練習時間がとれないのが悩み



ハンドルの角度、ステップの位置など、細かなアドバイスが信頼を深めていく



# レース時代、ライダーとのコミュニケーションで「信用」ほど大切なものはなかった ショップを出して、目先の利益を追うあまり信頼を失うようなことはしたくない

## お客さまとの信頼関係が TYZの予約に結びついた

穏やかな口調で話す阿部さんの話にぐいぐい引き込まれているうち、中学生くらいの少年と父親がやって来た。

でなく、ライセンス取得者も参加するという。聞けば、開催はまるつきりポランティアで行なっているとか。「トライアルをやってきた人間としてトライアルへ還元できるのは人を育てることぐらいですから……」と阿部さんは謙遜する。

お店の常連のようである。

さっそく応対に出た阿部さんと話をしているの、横で聞いていた。

話の内容は息子のマシンのセッティングに関するものようだ。ハンドルの高さやステップ位置はこのままでいいか、エンジンをパワーアップさせたので、このパーツを付けようと思うのだが……相談の内容は多岐にわたっている。阿部さんは質問一つひとつ丁寧に説明を加え、必要ではないものに対してははっきりNOと答える。

お客さまが帰ったあと、阿部さんは「あの親子は今年の春から始めたんですよ。ウチの大会を見に来ましてね、それがきっかけでした。まったく初めてということで、マシンをみっちりセッティングして、慣れてきたのでちょっとグレードアップさせたいということでした」

それにしても、まさにお金を握りしめて「このパーツを付けてくれ」といっているお客さまに対し、阿部さんは「まだいいじゃないですか」と断っている。お店の商売を考えれば、売ってもいいようなものだが。

「マシンはテクニクに応じたセッティングをすればいい。あの子の腕ではまだ必要ないと判断しましたので、説明して納得してもらいました。商売としては効率悪いけど、トライアルのお

客さまとは長い付き合いを。目先の利益を追うことはしたくないんです」

シビアなレース界に身を置いてきた阿部さんにとって、信頼を築くことは何より必要なものだった。

「レース時代、信用ほど大切なものはなかった。ライダーとのコミュニケーションの中で、一回でもメカニクの腕を疑われたらおしまいでしたから。信頼という意味では商売をやっていると同じなんです」

「お客さまの信頼度という点ではこんな話がある。今度リリースされるTYZ 250Zの話だ。」

「TYZは非常に軽い。バランスもいい。体力がなくてなくなった中年のライダーにも最適なんです。それでお客さまにおすすしめしたら、阿部さんの推薦なら間違いなだろう、って現物も見ずに予約を入れてくれました。もう予約は8台かな。信用してくれ、こんなに嬉しいことないですよ」

プロ相手の仕事から、幅広い層を相手とする商売へ転身を図った阿部さん。お客さまとの関係で、原点に戻らなければいけないと思うことがたびたびある。と言う。阿部さんにとっての原点とはどこなのだろう。

「初めてバイクに乗った、初めてトライアルを始めたときのあの気持ちでしょうかねえ。楽しさ、期待、そして不



ライダーの技量、予算に合わせたセッティングやチューンが身上。これも大きな信頼感を与えることになった

安。あの時の気持ちを忘れたら、もうお客さまとの距離は離れてしまう」  
トライアル・プロショップを営む阿部さんにとって「経験」はお店の個性だった。メカニクのノウハウ、ライダーとしての技術は「薬」の部分だ。では「毒」の部分、例えば知っていて当然なことを知らないがゆえに、過剰なほど万全な整備を施しても気付いてくれない苛立ち……阿部さんは、これを原点に立ち帰ることで解決している。いや、解決するだけでなく、「わからないなら教えてあげる」ことで「薬」に転じてしまっていた。  
個性の「毒」はメリットにも転じることができ。個性を押しつけるのではなく、処方する心がまえの大切さを痛感させられた。



ハローナイスショップ  
**Hello**  
 NICE SHOP



■アウト・オブ・ファクトリー

福岡市に隣接する春日市内、国道3号線とバイパスを連絡する道路沿いに建つ。周辺は住宅街でマンションも多い。九州自動車道・太宰府インターチェンジより15分程度、福岡空港へのアクセスも良い。専門誌への広告掲載により、顧客は九州全域はおろか日本全国に広がっている。

●オープン：平成元年5月 ●店舗規模：15坪ほどのショールーム内に5坪のサービス・スペース、店外オープンスペースは7坪。ほか店舗裏にクルマ2台分の駐車スペースを確保 ●展示車両：店内にディスプレイ用マシンを含め2台、オープンスペースにスクータ4台、コンペティションマシン8台、トレール車4台を展示 ●商圏：スクータとスポーツ車は春日市を中心に福岡市、大野市を含め半径10キロ ●客層：20代後半から30代歳を中心にサラリーマン、自営業者が多い ●クラブ：競技志向の強い「チーム・アウト・オブ・ファクトリー」 ●営業時間：午前10時から午後7時まで ●定休日：不定休



ショールームの一角に展示されるTY250Rは、'88年に伊藤敦志選手がタイトルを獲得した実車



ショールームと用品棚で区切られたサービススペースは機能優先でしかも清潔



店内に数多くかけられたポップ調の絵画パネルが、落ちついた雰囲気演出



“仲間とトライアルを語り合えるように”ゆとりを持たせたショールーム



